部月	番号	ર	85	11	一人の「十人													
Dly /		教育委員]	正	禹 名 生涯学習	2章	所属	₹ 臣	押栗 雅則								
事務事				習推進事		西	3 IA	記り		山下孝典								
	基本事具		工姓于	日准進事	<u>* </u>				1	田广子兴								
		_			D	1/-				教育基本法								
	区分	コード	7 184	/. 丶 	オナー ジ網ルー	称		根	拠	教育基本 広								
総合計	方針	01				. 魅力あふれるま	らを剧りより	法 台										
画の位	政策	03			に過ごせるまち	こします					_							
置付け	施策	04		習の推進				周浦	大津市生涯学習推進基 関連する 計画									
	視点	01	生涯に	わたって!	学べる環境づく	IJ			関連する 計画 計画									
	重事	01	家庭にる	おける教	育の推進													
田市	П	ード			事務	事業名称		Π-	- F	所属名称								
関連 事業																		
7.																		
予	会	計	枠	事	業種別	予	算 事 業	名		始期 • 終期								
算	一般	会計	政策	評価対象	 東 業	生涯学習推進事	業費											
事							-11.50											
業																		
	大津市生	主涯学習	推進本部	『を設置し	ノ、生涯学習に関	する施策を総合	的かつ機能的に打	進するとともに	、大津	市生涯学習推進会								
事業の						る生涯学習の推				. —								
概要																		
1111 3																		
/王 24		l = +1	<u>, </u>	15 -5 AT 1	* D D B * *			LA-11 D 2 a	Jula /									
	方法	■直宮			書 □ 民間委	託 口 出資団体	▲安計 □ 網具	団金交付 □ その)他()							
	事業分		P L A N	-	7 抗年七级人的	いの機能的に推進	: 	まれの間を回げる	で (事)	携、協力を促進し、本市								
	目 的				る爬泉を総合的が 習の振興を図る)		€9 0 C C t I C .	アタス (の)	チリ連が	5、励力を促進し、本印								
	可のために																	
	対 象		一般市」	氏及ひ生:	涯学習を推進す	る関係団体寺												
	可又は誰		// NE 24	77 14 14 -	/ /	** > > / 11		<i>h 1</i>	4 ×3 144 /									
	手 段	-		皆雅進フ フークの		、熱心まちつくり	出前講座などの	各種事業による写	こふ機会	会の提供及び関係団体の								
	ようなやり																	
	成 果	Ę				りたって、あらゆ できる社会の実現		ゆる場所において	「学習す	することができ、その成								
(どのよう	うな状態にす	するのか)	未で地	銭ひ/こび/	こ至がすことの	ここの社会の美術	<u> </u>											
<3.	経費>	DO																
			平成2	28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度										
			油 笛 宛				T 灰 01 千 皮	1711 2十1文										
直	接経費		八开印	〔千円〕	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)		備考								
		Α	八并币	〔千円) 1, 403	決算額(千円) 851	決算額(千円) 181				備考								
	、件 費		八开印			181	予算額(千円)	見込額(千円)		備考								
人		В	八并弘	1, 403	851	181 3, 791	予算額(千円) 357	見込額(千円) 357		備考								
人	、件 費 費合計 <i>A</i>	В	从并 弘	1, 403 10, 051	851 5, 956	181 3, 791 3, 972	予算額(千円) 357 3,473	見込額(千円) 357 3,473		備考								
事業費	、件 費 費合計 <i>P</i>	B 4+B	从并 取	1, 403 10, 051 11, 454 0	851 5, 956 6, 807	181 3, 791 3, 972 0	予算額(千円) 357 3,473	見込額(千円) 357 3,473 3,830		備考								
事業費の財源	、件 費 費合計 <i>A</i> 国	B 4 + B =	// # D	1, 403 10, 051 11, 454 0 150	851 5, 956 6, 807 0	181 3, 791 3, 972 0	予算額(千円)3573,4733,83000	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0		備考								
事業費	、件 費 費合計 <i>A</i>	B A+B 国 県	// # D	1, 403 10, 051 11, 454 0	851 5, 956 6, 807 0 0	181 3, 791 3, 972 0 0	予算額(千円)3573,4733,83000	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0		備考								
事業費の財源	、件 費 費合計 <i>A</i> リー・リー・リー・リー・リー・リー・ファイル	B A+B 国 最 債	// # D	1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0	851 5, 956 6, 807 0 0	181 3, 791 3, 972 0 0 0	予算額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 0 0	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0		備考								
事業 費 の内 別	、件 費 費合計 A 厚 見 起 その 一般	B A+B 国 限 債 D他	// # D	1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0 0 11, 304	851 5, 956 6, 807 0 0 0 0 0	181 3, 791 3, 972 0 0 0 0 0 3, 972	予算額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 0 3,830	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 0 0 3,830		備 考								
事業費の内 別 記	件 費 費合計 A 見 見 起 一般 員 数	B A+B 国 人 使 D他 以 財源	//Ans	1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0 0 11, 304	851 5, 956 6, 807 0 0 0 0 6, 807	181 3, 791 3, 972 0 0 0 0 3, 972	予算額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 0 3,830 0.50	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 0 3,830 0.50		備考								
本業 事業財 事業財 の内 職 職員数	件 費 費合計 A 見 見 起 その 一般 員 数 正	B A + B 国 県 債 D他 財源 (人)	// # to	1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0 11, 304 1, 74 1, 09	851 5, 956 6, 807 0 0 0 0 6, 807 0. 88	181 3, 791 3, 972 0 0 0 0 3, 972 0. 60 0. 42	予算額(千円) 357 3, 473 3, 830 0 0 0 3, 830 0.50 0.40	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0.40		備考								
本業費の内 訳 職	件 費 費	B A + B 国 見 債 D他 財源 (人) 規	// # D	1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0 11, 304 1, 74 1, 09 0, 00	851 5, 956 6, 807 0 0 0 0 6, 807 0. 88 0. 68	181 3, 791 3, 972 0 0 0 0 3, 972 0. 60 0, 42 0. 00	予算額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0,40 0,00	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0.40 0.00		備考								
本業	件 費 件 合計 起 る の 一 般 正 嘱 品 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	B A + B 国 限 使 財 (財 (規 氏 し 規 氏 し り り り り り り り り り り り り り り り り り り	//And	1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0 11, 304 1, 74 1, 09	851 5, 956 6, 807 0 0 0 0 6, 807 0. 88	181 3, 791 3, 972 0 0 0 0 3, 972 0. 60 0, 42 0. 00	予算額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0,40 0,00	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0.40		備考								
本業	件 費 費	B A+B 国 表 使 D 他 源 人 人 規 託 時 O		1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0 0 11, 304 1, 74 1, 09 0, 00 0, 65	851 5, 956 6, 807 0 0 0 0 6, 807 0. 88 0. 68 0. 00	181 3, 791 3, 972 0 0 0 0 3, 972 0. 60 0, 42 0. 00 0. 18	予算額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0.40 0.00	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0.40 0.00 0.10	<u> </u>		2年度							
本業	件 費 を	B A+B 国 表 D D D D D D D D D D D D D D D D D D	標	1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0 11, 304 1, 74 1, 09 0, 00	851 5, 956 6, 807 0 0 0 0 6, 807 0. 88 0. 68	181 3, 791 3, 972 0 0 0 0 3, 972 0. 60 0. 42 0. 00 0. 18	予算額(千円) 357 3, 473 3, 830 0 0 0 3, 830 0.50 0.40 0.00 0.10	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0.40 0.10	平成30	0年度 平成31年度 令和	2年度							
本業	件 費 件 合計 起 る の 一 般 正 嘱 品 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	B A+B 国 表 D D D D D D D D D D D D D D D D D D		1, 403 10, 051 11, 454 0 150 0 0 11, 304 1, 74 1, 09 0, 00 0, 65	851 5, 956 6, 807 0 0 0 0 6, 807 0. 88 0. 68 0. 00	181 3, 791 3, 972 0 0 0 0 3, 972 0. 60 0. 42 0. 00 0. 18	予算額(千円) 357 3, 473 3, 830 0 0 0 3, 830 0, 50 0, 40 0, 00 0, 10	見込額(千円) 357 3,473 3,830 0 0 0 3,830 0.50 0.40 0.00 0.10	平成36		2年度 0							

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
		参加者数	ı	目標	2, 000	0	0	0	0
活	1		^	実績	2, 600	0	0	-	-
動	<mark> 動 </mark> 【生涯学習フェスティバル参加者数(平成28年度まで)								
指		熱心まちづくり出前メニュー数	個	目標	0	110	111	112	113
標	2		亘	実績	0	128	133	-	-
			成29年度から指標	設定)					
		熱心まちづくり出前講座利用件数	件	目標	170	0	0	0	0
成	1		IT	実績	113	0	0	ı	-
果		熱心まちづくり出前講座利用件数(平成	28年度まで)				,		
指		熱心まちづくり出前講座参加者数	1	目標	0	2, 790	2, 860	2, 930	3, 000
標	2		^	実績	0	2, 303	3, 293	-	_
		総合計画に合わせ指標を見直した。(平	成29年度から指標	設定)					·

事業を明 社会環境			伴い行政サービスの縮小などが余儀なくされる中、持続可能な自主自立のまちづくりが必要 係る学習機会の提供と学習成果を地域づくりに生かすことが求められている。
これまでの見直し や改善等の経過			バルから、生涯学習を推進する団体間の交流や意見交換を通じて、市民の生涯学習への普及 習によるまちづくりに寄与していけるように生涯学習推進フォーラムに見直しを行った。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	_	ぎ妥当である まり妥当ではない	ライフステージに応じた学習機会の提供と実践者の交流の場を設けることで、生きがいづくりと学習成果を生かそうとする意識が醸成される。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あa	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	生涯学習フェスティバルの開催を見直し、生涯学習推進フォーラムとして、団体間の交流 と市民の生涯学習へのきっかけづくりの場を提供している。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. やt □ C. やt □ D. 低U	o高い o低い	出前講座に関しては、少ないコストで多くの市民に学習の機会を提供できている。
総合評価		画どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
	■ A. 貢繭	献している	多様な学習機会を提供することにより、ライフステージに応じた内容や方法で学ぶことが

■ A. 貢献している	_ C //\
施策への □ B. やや貢献している できる「生涯学習の活発なまち」の実現に寄与している。	
<mark>貢 献 度</mark> □ C. あまり貢献していない	
□ D. 貢献していない	

< 6.	今後	:の方向性> ACTIO	N					
		■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの.	上で継続(□ 2-1.拡き	た・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
		□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合	□ 2-6. その他)			
方向	性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了() 🗆	5. 休止	□ 6. 廃止	
Л Ш	注	今後は、生涯学習を推進する できる環境づくりに取り組ん		を強化し、市民	が主体的に学	が、その成	果を地域づくり等につな	ぐことが
部局コメン	長	地域の主体的な学びのための 学びと活動の循環」を更に低 組む。						

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標 1	- %	- %	- %
達成率	指標2	0.00 %	82. 54 %	115. 13 %
成 果	指標1	- %	%	%
増減率	指標2	- %	±0.00 %	+42. 98 %
活動単位	指標 1	- 千円	- 千円	- 千円
コスト	指標2	0 _{千円}	53 千円	29 _{千円}
成果単位	指標 1	- 千円	- 千円	- 千円
コスト	指標2	0 _{千円}	2 _{千円}	1 _{千円}
コスト増	減率	- %	±0.00 %	-59.19 %

				平月	成31年)	度 事	务事業評価	6シート		[平成30年	F度事後評価]
整理	番号	3	86								
部月	高 名	教育委員	会	•	所,	禹 名 生涯:	学習課	所	属長	押栗 雅.	則
事務等	事業名	00834	家庭教育	育推進事業				記	入 者	大角 千	夏
<1.	基本事	項>									
	区分	コード			名	科	ī	+8	+hn		法、大津市家庭
60 A -1	方針	01	子どもカ	から高齢者を	までが輝いて、	魅力あふれる	まちを創ります			教育推進事業補助金交付要綱	
総合計画の位	政策	03	生き生き	きと健康にi	過ごせるまちり	こします		•	13	~ ·+· ·	
大津市教						育振興基本計画					
	視点 ┃ 01 ┃生涯にわたって学べる環境づくり							≝9る 計画			
	重事	01	家庭における教育の推進								
関連	П	ード			事 務	事 業 名	称	П	ード	列	「属名称
事業											
予		計	枠		美種 別		予 算 事 業	名		始 期	・終期
算	一般	会計	特定	評価対象事	業	家庭教育推進事業費					
事業											
*			11 24 7 1	^ === !÷ / × ==	- //		100 No. 18-	7 × m / = 1	<u> </u>	- W - + +	
声类の							機能が変容している 料開放事業を実施し				
事業の 概 要	」を策定	定し、小	学 1 年生	に広く周知	〕し、家庭教育	育の推進を図っている。					
運営	方 法	■ 直営		指定管理者	↑ □ 民間委託	迁 口出資	団体委託 ■ 補助	助金交付 □ そ	の他()
<2.	事業分	折> F	PLAN	l							
	目的]	地域に	おける様々な	よ家庭教育支持	爰の取り組みる	充実させることに	より、家庭教育	の向上を	を目指す。	
(作	可のため	(こ)									
	対 象	₹	保護者	や子ども							
(作	可又は誰	を)									
	手 段	ւ Հ	親の学び	ゾや親同士の	の交流、親子	苦しくは世代間	のふれあいを促進	する事業への支	援		
(どの。	ようなやり	り方で)									
	成 集	<u> </u>	保護者	や子どもたち	ちに、様々な	学びやふれあし	い の場の拡大と充実	を図るとともに	、家庭教	教育の意識の	D高揚を図る
(どのよう	うな状態に	するのか)	0								
<3.	経費>	DO									
			平成2	28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		備	考
			決算額	(千円) 湯	快算額(千円)	決算額(千円) 予算額(千円)	見込額(千円)		VĦ	

<u> </u>	性負/ ロリ						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	岬
直接経費 A		3, 117	1, 901	1, 641	2, 929	3, 634	
人	. 件 費 B	2, 848	2, 758	3, 473	6, 095	6, 602	H 3 1 ~地域学校協働活動事業増
事業領	費合計 A+B	5, 965	4, 659	5, 114	9, 024	10, 236	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源内 訳	起債	0	0	0	0	0	
r J H/X	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	5, 965	4, 659	5, 114	9, 024	10, 236	
職	員数(人)	0. 39	0. 49	0. 50	0. 97	1. 07	H 3 1 ~地域学校協働活動事業増
[Wh 드 왕년	正規	0. 34	0. 29	0. 40	0. 62	0. 67	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0. 30	0. 30	
O 1 1 1 1 1 (臨時	0. 05	0. 20	0. 10	0.05	0. 10	

	/	指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度			
		「家庭教育推進事業補助」事業数		目標	80	30	30	30	30			
活動指標	1		囙	実績	98	36	29	-	-			
動		社会教育関係団体等が一年間に実施した事業数										
指		地域学校協働活動推進員委嘱数	1	目標	0	0	0	28	39			
悰	2		^	実績	0	0	0	-	-			
		推進員委嘱数(H31年度から)			•			•				
		「家庭教育推進事業補助」参加者	ı	目標	12, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000			
ᆄ	1	数	^	実績	11, 267	2, 874	2, 644	-	_			
果		対前年度参加者数										
成果指標		地域学校協働本部数	件	目標	0	0	0	3	6			
悰	2		IT	実績	0	0	0	-	-			
		地域学校協働本部数(H31年度から)	_				•					

		近年の急激な社会構造の変化により、地域社会の人間関係の希薄化、核家族化が進み、家庭の教育力が低下して きている。					
			おつ家庭教育5か条」を策定し、小学生を対象に広く周知した。平成25年度、平成29年 を一部改正した。また、平成27年度で我が家の1か条の公募及び表彰を終了した。				
項目別評価	評	価	評 価 理 由				
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当で □ B. ほぼ翌 □ C. あまり □ D. 妥当で	妥当である J妥当ではない	保護者に対する学習の機会及び情報の提供を支援することにより、家庭及び地域の教育力の向上が図られる。				
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	□ A. 上がっ ■ B. やや」 □ C. あまり	上がっている リ上がっていない	補助対象となる社会教育関係団体等に家庭教育の重要性を周知するとともに、平成29年度からは補助対象事業を保護者に対する学習の機会及び情報の提供、その他の家庭教育を支援するための事業に限定することで、補助金の有効活用を図っている。				
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高い ■ B. やや高 □ C. やや個	高い	補助事業については、家庭の教育力の向上につながるように事業内容対し助言を行ってい る。				
総合評価		ごおり事業を進める 見模や見直しが必要					
	ローム						

施策への	□ A. 貢献している■ B. やや貢献している	子どもの育ちを地域で支援する取り組みを行い、本市の目指す「次代を生き抜く力の育成 」、「生涯にわたって学べる環境づくり」に寄与している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない □ D. 貢献していない	

< 6	. 今後	での方向性> ACTION
		□ 1. 現状のまま継続 ■ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 ■ 2-2. 手段等の改善□ 2-3. 効率化
		□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方	向 性	□ 3.終期の設定 □ 4.終了 () □ 5.休止 □ 6.廃止
71	14) IX	補助金については、見直しにより、保護者に対しての学習機会の提供など家庭教育の推進につながる事業に対し交付が
		できている。この成果をふまえ、より効率的かつ効果的に家庭教育の推進を図るとともに、今年度より実施されている
		地域学校協働活動や大津教育プロジェクトにより、今後、更なる家庭や地域の教育力の向上を図る。
		平成29年度より、補助対象事業を整理するなど、抜本的な見直しを行い、より効果的な事業に対し、補助金を交付す
		ることができている。今後においても、引き続き、効率的、かつ、効果的な事業を展開すべく検討し、家庭教育の推進
コ ;	メント	を図る。

区分	'	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	93.89 %	95.80 %	88. 13 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	-74. 49 %	-8.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	60 千円	129 千円	176 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	0 _{千円}	1 千円	1 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+206.19 %	+19.31 %

亚式21年中 東敦東要記[[4]]

r		_		半成り	リ平は	Ż	+ %=	手耒評 個	ョンー	-		[平成30	0年度事後評	'価」
	番号		98											
部		教育委員			所 属	名	図書館				禹 長	松下		
事務署	事業名	00822	図書資料	整備事業 						記》	入者	中島	純子	
<1.	く1. 基本事項>													
	区分	コード			名		称			+8	拠	図書館	法	
40 A = I	方針	01	子どもか	ら高齢者までか	「輝いて、	魅力を	5ふれるまち	を創ります			冷等			
総合計 画の位	政策	03	生き生き	と健康に過ごせ	さまちに	します	<u> </u>							
置付け	施策	04	生涯学習(の推進						田田、本	+ 7		市子ども読書活	5動
	視点	01	生涯にわる	たって学べる環	環境づくり						する 計画	推進計	- 囲	
	重事	02	図書館機	能充実事業										
887年	П	ード			事 務	事業	名 称			Π-	ード		所属名称	
関連 事業														
4. 2/4														
予						名			始 其	胡・終期				
算	一般	会計	管理	平価対象事業	[図書資	料整備事業	費						
事業														
耒														
			に応えるため、生活に根ざした知識・情報の提供拠点として、必要な資料 に重点を置き、読書習慣や自ら学ぼうとする意欲の形成を支援する。							り収集、	保存、	整備を行	うう。また	
事業の	、児里1	ナーヒス	に里点を直	፤さ、読書省 慎	や目ら学り	まつと	する恵欲の	杉 放を文援する	ර ං					
概要														
運営	方 法	■ 直営	営 口指	おおり は	民間委託		〕出資団体	₹託 □補耳	助金交付	□ その)他 ()
<2.	事業分	析>	PLAN											
	目 的	5	市民の教	養、調査研究、	レクリェ	ーショ	コン等に資す	る。						
(作	可のため	に)												
	対 象	₹	市民(市口	内在住、在勤、	在学)									
(作	可又は誰	を)												
	手 段	ž	資料の収集	集、整理、保存	· 提供、	除籍			_					
(どの。	ようなやり	/方で)												
	成 集	ŧ								事・勉強	鱼・生活	舌に役立て	てることにより	
(どのよう	うな状態に	するのか)	、市民の	自己実現(個性	を発揮し	目分ら	っしく活動で 	きる)に資す	る。					
	奴弗人													

<u> </u>	性負/ ひひ						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	岬 为
直接経費 A		39, 522	40, 246	43, 585	40, 010	42, 906	H30に北・和邇予算を一部移行
人	、件 費 B	18, 120	17, 528	15, 461	16, 083	16, 682	
事業	費合計 A+B	57, 642	57, 774	59, 046	56, 093	59, 588	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源内 訳	起債	0	0	0	0	0	
F J D/C	その他	23	30	53	39	39	
	一般財源	57, 619	57, 744	58, 993	56, 054	59, 549	
職	員数(人)	3. 40	3. 30	3. 30	4. 69	5. 00	
[변화 등 왕년	正規	1. 60	1.50	1. 20	0. 80	0. 80	
職員数 の内訳	嘱託	1. 60	1. 60	1. 40	1.80	1. 80	
OF 10/C	臨 時	0. 20	0. 20	0. 70	2. 09	2. 40	

		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
		児童図書蔵書冊数		目標	225, 723	225, 723	225, 723	225, 723	225, 723
活動指	1		πи	実績	220, 389	220, 054	204, 091	-	1
動		市立図書館の蔵書中、児童書(紙しばい	、絵本等含む)				,		
指		新規図書購入冊数		目標	28, 890	28, 890	28, 890	28, 890	28, 890
標	2		πи	実績	27, 567	28, 236	32, 981	-	1
		年間新規図書購入冊数					,		
		12歳以下の子ども1人当り児童	冊/人	目標	5. 25	5. 25	5. 25	5. 25	5. 25
戓	1	図書蔵書冊数	m/ /	実績	5. 35	5. 4	5	-	1
成果		児童図書 ÷ 12歳以下の市民					,		
指標		開架に占める新規図書比	%	目標	9. 1	9. 1	9. 1	9. 1	9. 1
標	2		70	実績	8. 7	8. 9	8. 4	_	_
		開架スペースに占める新規図書冊数の割	<u></u>		•				

事業を明 社会環境			身近な社会教育施設として、利用者の多様化するニーズを的確に把握し、資料や情報提供す の活字離れが危惧される中、より一層の魅力ある資料の充実が求められている。
これまで や改善等			に努め、リクエストのあった資料は、購入もしくは他の図書館からの相互貸借等により迅速 ビスの充実を図った。また子ども読書活動推進に向けて児童書の整備充実に努めた。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)		ぎ妥当である まり妥当ではない	図書館は、市民が生涯にわたり自主的に学習できる社会教育施設であり、一貫した資料収集を継続的に行うことが重要である。また、図書を提供するだけでなく、レファレンスサービスに迅速かつ的確に対応することが求められている。これらの点から、図書館運営は司書資格を持つ専門職の配置を加味した市直営で運営することが妥当である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あ	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	12歳以下の子ども1人当たり児童蔵書冊数(5.35→5.0)は、前年度と比べ減少しているものの、移動図書館の蔵書構成の変更による除籍の実施によるもので、新規購入冊数は前年度に比して僅かながら増加している。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. や ⁴ □ C. や ⁴ □ D. 低U	や高い や低い	限られた予算の中で1冊でも多く、市民の要望等に応えられるよう様々なツールを用いて 選書を行っている。また、学校や園に対し図書館資料の有効活用を図ってもらえるよう、 調べ学習用図書等を購入したり、朝読用に向けた図書を購入している。
総合評価		画どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
		H1 -1.7	

	口B やや音献している	図書館はあらゆる分野の資料や生涯学習情報を収集し、相談等を含めた提供するための環 境を整えていくことで市民の知的要求に応えている。自分に必要な情報を選択し知識を習
貢献度		得することで「個性を発揮し、自分らしく活動できるまちづくり」への貢献につながることであり、ひいては「社会教育の充実したまちづくり」に貢献している。

く6. 今後	後の方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止 市民にとって身近な社会教育施設として、多岐にわたって情報サービスの充実に向けた魅力ある資料の収集に努めるとともに、子どもの読書活動をより推進していくため児童書の充実も図っていく。
部 局 長 コメント	市民の読書要求に応え、学習の機会を保障するため、幅広い資料の充実に努めるとともに、子ども読書活動の推進や市 民の生涯学習推進を図るため、新鮮で魅力のある図書資料の充実に努めていく。

区分	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	101.90 %	102.85 %	95. 23 %
達成率	指標2	95.60 %	97.80 %	92. 30 %
成 果	指標1	- %	+0. 93 %	−7. 40 %
増減率	指標2	- %	+2. 29 %	-5.61 %
活動単位	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
コスト	指標2	2 _{千円}	2 _{千円}	1 千円
成果単位	指標1	10,774 _{千円}	10,698 _{千円}	11,809 _{千円}
コスト	指標2	6,625 _{千円}	6,491 千円	7,029 千円
コスト増減率		- %	-1.35 %	+9.32 %

赤ケT田		20	00	一次の	1 13	Z.	于加于	▼ □T	ш /	1,		[平成30年度事依評価	J	
	番号	教育委員	99		北見	D	回事約			ᇎ	2 E	中川 弘	_	
部局				· 医一种 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	所属	石	図書館				属 長		_	
事務事			北凶書	馆運営維持管理事 	未					āC ,	人者	<mark>/</mark> 夘滝 眞喜子		
<1.	基本事				-		T.L.		1				_	
	区分	コード	- 10.1		名	44 1 1	<u> </u>	Selection 1		根	拠	図書館法 大津市立図書館条例		
総合計	方針	01		いら高齢者までが				訓ります			冷等			
画の位	政策	03		きと健康に過ごせ	るまちに	します	<u> </u>					<u></u>		
置付け	施策	04		習の推進						第2期大津市教育基本計 画・大津市子ども読書活				
	視点	01	生涯に	ったって学べる環	境づくり						計画	動推進計画		
	重事	02	図書館	機能充実事業										
関連					事業	名 称			Π-	ード	所属名称			
事業														
,														
予	会	計	枠	事業種	別		予算	事 業	名			始 期 · 終 期		
算	一般会計 管理 評			評価対象事業	-	北図書	館運営維持管理	事業費						
事業														
未														
		fの貸出し、レファレンス等図書サービス、および「お話し会」や映画会等の児童サ i軽に利用でき、安全で快適な施設をめざす。							児童サーヒ	ごスを中	心に、	学校等とも連携し		
事業の	、 ×(#±1·		己、女 主	- C 大週4 加設を	<i>x</i>)									
概要														
運営		■ 直営		指定管理者 🛘	民間委託		〕出資団体委託		助金交付	□ その)他 ()	
<2.	事業分		PLAN	-										
	目 的		市氏の著	求める図書を気軽	に貧出し	、読書	§要 来に応え、	読書文化の	同上に奇-	与する。				
	「のため」					3 F 1744 -	- 							
	対 象		市氏(ī	市内在住、在勤・	在字)と	近隣0	り京都市氏(サ	ーヒス限定	(1)					
	グロスは誰を) 手 段 図書の貸出、調査相談や複写・閲覧サービス、行事参加を通じて													
	手 段		凶害の]	賞出、調査相談や	複与・閲	覧サー	-ヒス、行事参	叩を通じて	•					
	ようなやり				** * * * .		•							
	成 集	•	市民・	利用者が豊かな教	:養を身に	つける	5.							
	な状態に													
<3. i	経費>	DO												

<u> </u>	作長/ ひし						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	VH 25
直接経費 A		2, 970	2, 976	951	804	804	
人件費B		22, 484	22, 583	20, 818	20, 818	22, 453	
事業	費合計 A+B	25, 454	25, 559	21, 769	21, 622	23, 257	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源 内 訳	起債	0	0	0	0	0	
r J H/C	その他	71	54	49	72	72	
	一般財源	25, 383	25, 505	21, 720	21, 550	23, 185	
職	員数(人)	7. 03	7. 70	7. 70	7. 70	7. 70	正規は北文センター兼務
₩ E ₩	正規	0. 75	0. 65	0. 55	0. 55	0. 55	1名が年間休職、館長は嘱託
職員数 の内訳	嘱託	4. 30	3. 60	2. 24	2. 24	3. 70	8月中旬から産休・育休1名
しつともので	臨時	1. 98	3. 45	4. 91	4. 91	3. 45	休職と育休の代替2名を含む

		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度					
		北図書館の貸出冊数→図書館利用	₩ →□	目標	372, 000	372, 000	372, 000	130	130					
活	1	促進にかかる事業回数(※)	一旦	実績	369, 249	366, 250	373, 193	-	1					
動		※平成31年度分より指標を精査したこ	とによる変更	による変更										
指		北図書館の貸出者数	1	目標	88, 000	88, 000	88, 000	0	0					
標	2		^	実績	87, 221	84, 041	79, 300	-	1					
		※平成31年度より指標を精査したこと	による項目削除											
		活動指標1で目標冊数に対する実	%→⊞	目標	100	100	100	370, 000	370, 000					
战	1	績冊数の割合→北図書館貸出冊数	7 0 → [III]	実績	99. 3	98. 5	100. 3	1	1					
成果指		※平成31年度分より指標を精査したこ	とによる変更											
指		活動指標2で目標貸出者数に対す	%	目標	100	100	100	0	0					
標	2	る実績貸出者数の割合	70	実績	99. 1	95. 5	90. 1	_						
		※平成31年度より指標を精査したこと	による項目削除			※平成31年度より指標を精査したことによる項目削除								

事業を耳 社会環境	は 回事の代山 明	ともに世帯平均所得の伸びが見込めず、市民の教養娯楽に関する支出額が低下する傾向にあ 覧サービスのほか、図書館を憩いの場として利用する需要が高まっている。
	リカル	参考に、読者ニーズに沿った選書に努めた。小学校等の団体貸出・配本サービスを拡大、近 本の読み聞かせ」等を実施し、子どもの読書環境の拡充を図っている。
項目別評価	評価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	□ A. 妥当である ■ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	県内外の図書館との相互貸出やレファレンス等のサービスを強化し、市民ニーズに応えている。読み聞かせ等のボランティア活動を積極的に支援し、活動領域を拡げることで、子育て世代の読書サービスの充実につなげている。大学等との共催事業に取り組み、読書環境の拡充を図るなど、市民の生涯学習を推進するうえで、大きな役割を果たしている。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	□ A. 上がっている ■ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていない □ D. 上がっていない	夏季の猛暑等の影響で貸出者数は前年度より減少したものの、3年ぶりに貸出冊数が目標を上回った。年間を通じて市民ニーズに応えてきたことにより、その成果が現れたものと判断する。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高い■ B. やや高い□ C. やや低い□ D. 低い	近隣小学校への配本サービスの拡大(1校あたりの貸出冊数を増加)や、文化ホールを活用した映画会、さらには開館25周年記念事業「ほくぶん子どもまつり」の開催を通じて、子どもの読書環境を効率的に整備し、貸出冊数増につなげることができた。
総合評価	□ 1. 計画どおり事業を進める □ 3. 事業規模や見直しが必要	

		小学校への配本サービスの拡大等により、前年度比30%(1,735冊)の貸出増の成
		果をあげ、児童の読書環境の改善に貢献できた。自主映画会や大学・ボランティア団体等との共催事業、ほくぶん子どもまつりの開催を通じて、子どもから高齢者に至るまで幅広
	□ C. あまり貢献していない	この共催事業、はくぶん子ともようりの開催を通じて、子ともから高齢者に至るよで幅広 く利用いただき、北部地域の文化の拠点施設として親しまれている。
	□ D. 貢献していない	

< 6. 今後	その方向性> ACTION
	□ 1. 現状のまま継続 ■ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 ■ 2-2. 手段等の改善□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止
7) III II	開館以来、子ども向けサービスに重点を置いた取り組みを進めてきたが、超高齢化の進展とともにニーズの高まってい
	る大人向けサービスを拡大しなければならない。大人向けの映画会やお話し会の開催頻度を上げたり、ボランティア団
	体の協力も得ながら、高齢者施設への出前「読み聞かせ」等のサービスの拡充を図っていく。
部局長	す後とも、子ともの試音活動を文張する取り組みの元美にあめていて。子とも向け出前す一と人だけではて、末頃できない高齢者のために、デイサービス施設等に出向いて「読み聞かせ」等の読書サービスを展開していく。
部局長コメント	ない同即省のために、ブイッ ころ心成寺に山内が、こ、記が周が、と、寺の武音が ころと、広南していて。
7,21	

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	99.30 %	98.50 %	100.30 %
達成率	指標2	99.10 %	95. 50 %	90.10 %
成 果	指標1	- %	-0.80 %	+1.82 %
増減率	指標2	- %	-3.63 %	-5.65 %
活動単位	指標1	0 _{千円}	0 千円	0 千円
コスト	指標2	0 _{千円}	0 _{千円}	0 千円
成果単位	指標1	256 _{千円}	259 _{千円}	217 _{千円}
コスト	指標2	256 千円	267 千円	241 千円
コスト増減率		- %	+2. 70 %	-13.03 %

	平成31年度 事務事業評価シート [平成30年度事後評価]												
整理	番号	40	00	<u> </u>									
部	多名	教育委員			111	属 名	図書館				属 長	堀出 正	 治
事務事			和邇図書	書館運営	維持管理事業					記	人者	西本麻里	子
<1.	く1. 基本事項>												
	区分	コード	7 184 1	· +	キャー ジャー	- m+ _L _b	- 称			根	拠	図書館法	
総合計	方針	01			者までが輝いて			ちを剧ります	<u> </u>	法令等			
画の位	政策 施策	03			に過ごせるまち	にしまり						十净古乙	ども読書活動推
置付け	視点	04 01		習の推進	学べる環境づく	П				関連	する	進計画	こで記書心刻性
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	02		機能充実		9			—— 	個別	計画		
		ド	凶音邸	成形兀夫	事系事務	事業	名称			7-	- ド	ī	斤属名称
関連		- 1			Ŧ 12	ず 木	1 1 111				- 1"	19	海 石 小
事業													
7	会	計	枠	事	業種別		予	算 事 業	名			始 期	• 終期
予 算	一般	会計	管理	評価対象	東事業	和邇図	書館運営	維持管理事業費					
事													
業													
-t- 444 - 0								行い、貸出や利用 書館車の巡回を行					
事業の 概 要		コンサ		を定期的	内に開催し、図	書館に親	しみを持	てる環境を整える	るとともに	、利用	し易く	、安全で快	適な施
	「文マン小正」	1日在10	27.00.										
運営		■ 直営		指定管理	里者 🛭 民間委	託 口	出資団体	本委託 □ 補助	加金交付	□ その)他 ()
_	事業分	., .	PLAN	-						120 1 1			
	目 的	•	凶害貧精	科等を市	氏の利用に供し	、その教	養、調鱼	研究、レクレー	ション等に	こ貧する	<i>5ため、</i>		
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	「のため」	•	十 日 /-	+ + + <i>+</i> /+	た曲 を置い	ナ 44名1-	,						
	対 象 可又は誰:		中氏 (1	计计内印	、在勤、在学)	で対象に	•						
	手 段		資料の領	学出及び	利用相談を行う	。また、	移動図書	館車の巡回、障	害者サート	ブス. Β	中画会・	おはなしる	・講演会・
	ようなやり	•			事業を開催し、	0 01721		,			,,,,	00.0.0.0.0	A 11777.24
成果市民が読書や調査研究のため気軽に利用できる、地域に役立つ社会教育の拠点施設を目指す。													
	な状態にす	するのか)											
<3.	経費>	DO											
				8年度	平成29年度		30年度	平成31年度	令和 2			備	考
			決算額	<mark>(千円)</mark>	決算額(千円)	決算額	<mark>(千円)</mark>	予算額(千円)	<mark>見込額(</mark>	千円)			

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	VIII 15
直	i接経費 A	12, 552	16, 111	11, 926	10, 138	10, 138	
人	、件 費 B	28, 670	29, 022	30, 359	31, 479	31, 479	
事業	費合計 A+B	41, 222	45, 133	42, 285	41, 617	41, 617	
	国	0	0	0	0	0	
事業費 の財源	県	0	0	0	0	0	
内訳	起債	0	0	0	0	0	
1. 3 11/4	その他	35	35	56	36	36	
	一般財源	41, 187	45, 098	42, 229	41, 581	41, 581	
職	員数(人)	9. 58	9. 58	9. 58	9. 58	9. 58	
마 무 %	正規	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
職員数 の内訳	嘱託	4. 00	4. 00	5. 00	6. 00	6. 00	
221/3E/C	臨時	4. 58	4. 58	3. 58	2. 58	2. 58	

		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
		和邇図書館の貸出冊数→図書館利	⊞ →□	目標	336, 000	330, 000	310, 000	150	150	
活	1	用促進にかかる事業回数(※)	≡	実績	316, 691	304, 205	310, 504	-	-	
動指		※平成31年度分より指標を精査したことによる変更								
指		和邇図書館の貸出人数	ı	目標	77, 000	75, 000	72, 000	0	0	
標	2		^	実績	72, 689	69, 153	67, 186	-	_	
		※平成31年度より指標を精査したこと	による項目削除							
		活動指標1の目標冊数に対する実	%→⊞	目標	100	100	100	311, 000	311, 000	
时	1	績冊数の割合→和邇館貸出冊数	7 0 → [III]	実績	94	92	100	-	-	
成 果		※平成31年度分より指標を精査したこ	とによる変更							
指揮	指	活動指標2の目標人数に対する実	%	目標	100	100	100	0	0	
悰		績人数の割合	70	実績	94	92	93	-	_	
	※平成31年度より指標を精査したことによる項目削除									

▼ 0 . pi µ			
事業を 社会環境	なりまく 竟の状況		人口減が進んでいる地域である。幼児から高齢者に至るまでのみなさんが、利用できる社会 として、図書館の役割は大きい。
ーゎ±で	の見直し	移動図書館のステー	ションを変更して真野、真野北市民センターを新たに追加した。
	の発揮し		
心以音	チの柱地		
項目別評価	評	価	評 価 理 由
	■ A. 妥当	当である	公共図書館は社会教育の拠点施設であり、常に新しい資料を収集し市民サービスを提供す
妥 当 性		ぎ妥当である	ることが必要であり妥当と考える。
(実施主体又は	_		
手段は妥当か)	□ C. あま	⊧り妥当ではない	
	□ D. 妥当	当ではない	
+ + +			投動団事命去市心に登山皿券は、増加している
有效性	□ A. 上た	いっている	移動図書館を中心に貸出冊数は、増加している。
(事業分析の 「成果」 欄に	■ B. やt	た上がっている	
記載の成果は上がっている	□ C. あま	⊧り上がっていない	
か)	□ D. 上 <i>t</i>	がっていない	
41 14	□ A. 高い	١	少ない職員で、効果的に事務を進めている。
効 率 性 (事業手法は効	■ B. やt	5高い	
率的である	□ C. やt	5低い	
か。)	□ D. 低し	١	
<u></u>	□ 1. 計画	回どおり事業を進める	・
総合評価	□ 3. 事業	業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A. 貢献	#1.ている	資料の貸出しやレファレンスの対応、移動図書館の運行。定期的な行事の実施などにより

1 - 4 4	口し、貝胁していない	
	□ D. 貢献していない	
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ B. やや貝臥している	地域の社会教育の拠点施設として一定の役割を果たしている。
		貝科の貝面しマレファレフへの対応、

	□ D. 貢献していない				
< 6. 今後	後の方向性> ACTION				
	■ 1. 現状のまま継続 □	2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化	□ 2-2. 手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □	2-5. 統合 口 2-6. その他)		
方向性		4. 終了() □ 5.休止	□ 6. 廃止	
77 IN IL	公共図書館として、図書資料の3 た、館内においては、幼児から原するため、施設の計画的な修繕る	成人を対象にした様々な行事を			
部 局 長 コメント	移動図書館をはじめ事業全般に 持管理を努めてほしい。	おいて積極的な展開を図り、7	市民サービスの向上に努	め、施設面においては、	適正な維

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目 標	指標1	106.38 %	108.69 %	100.00 %	
達成率	指標2	94. 00 %	92. 00 %	93. 00 %	
成 果	指標1	- %	+2.12 %	-8.69 %	
増減率	指標2	- %	-2.12 %	+1.08 %	
活動単位	指標1	0 千円	0 _{千円}	0 _{千円}	
コスト	指標2	0 千円	0 _{千円}	0 _{千円}	
成果単位	指標1	438 _{千円}	490 千円	422 _{千円}	
コスト	指標2	438 千円	490 千円	454 _{千円}	
コスト増	減率	- %	±0.00 %	+3. 24 %	

7. 4.01 左帝 市交市光冠(正)

	平成31年度 事務事業評価シート [平成30年度事後評価]										
整理	番号		01								
部局		教育委員				属 名 図書館			属 長	松下 光正	
事務事			図書館選	軍営維持'	管理事業			記 記 記	人者	南井 亮子	
< 1.	基本事	頁>									
	区分	コード			名	称		#8	+hn	図書館法	
	方針	01	子どもた	いら高齢	者までが輝いて、	魅力あふれるま	ちを創ります		拠		
総合計 画の位	政策	03	生き生き	きと健康	こ過ごせるまちり	こします		<i>(</i> 2)	,		
置付け	施策	04	生涯学習	習の推進				田中本	+ 7	大津市子ども読書	計 活動推
	視点	01	生涯にネ	ったって!	学べる環境づく	Ŋ		第連 個別	する 計画	進計画	
	重事	02	図書館機	機能充実	事業			112733			
四、士	П	ード			事務	事 業 名 称		Π-	ード	所 属 名	称
関連 事業											
于木											
予	会	計	枠	事	業 種 別	予	, 算 事 業	名		始 期 ・ 終 期	1
算	一般	会計	管理	評価対象	快事業	図書館運営維持	管理事業費				
事											
業											
							、また、読書活動	伽の振興を担う機	関とし	て、利用者等の要	
事業の				:応じ、地域の実情に即した運営に努める。 乳幼児とその保護者及び外国人その他特に配慮を必要とする者が、安全・快適に利用できるよう、施設・							
概要			に努める		NE IXONE	C C TO TO TO TO TO THE		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1 1711 C		
運営		■ 直営		指定管理	■者 □ 民間委託	托 口 出資団体	本委託 □ 補助	団金交付 □ その)他 ()
<2.	事業分	<u>折> F</u>	PLAN								
	目 的	_	読書環境	見の整備							
	可のため	-									
	対 象	į.	市民(市	卜内在住 .	、在勤、在学)						
(作	可又は誰	を)									
	手 段	`	施設の約	推持管理	及び利用者サーロ	ビスの向上					
(どの。	ようなやり										
	成 集	ļ.	安全快通	箇な読書:	環境の確保と共に	こ利用者の増加を	図る				
	な状態に	するのか)									
<3.	経費>	DO									
				8年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		備考	
			決算額	(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)		-	
	接経費			28, 044	26, 441	·	28, 298		H 3 0	年度より事業統合	
	、件費			29, 420	27, 320	86, 315	75, 135	75, 434			
事業	費合計 4			57, 464	53, 761	·		104, 732			
	3	E		۸	0	0	0	0			

		干成20年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	卫和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	1
直	i接経費 A	28, 044	26, 441	25, 409	28, 298	29, 298	H30年度より事業統合
人	、件 費 B	29, 420	27, 320	86, 315	75, 135	75, 434	
事業	費合計 A+B	57, 464	53, 761	111, 724	103, 433	104, 732	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源内 訳	起債	0	0	0	0	0	
1 3 H/C	その他	0	0	247	351	351	
	一般財源	57, 464	53, 761	111, 477	103, 082	104, 381	
職	員数(人)	4. 40	4. 10	25. 16	23. 37	23. 56	
Deb = ***	正規	3. 40	3. 10	4. 70	3. 60	3. 60	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	7. 40	6. 66	6. 60	
22. JU/C	臨時	1.00	1.00	13. 06	13. 11	13. 36	

<u> </u>													
		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度				
		児童サービス回数		目標	0	0	220	0	0				
活	1		凹	実績	0	0	234	-	-				
動		3 0年度より図書活動事業を統合したことによる指標設定(移行)→3 1年度より精査したことによる項目削除											
指		図書館利用促進に係る事業回数(0	目標	0	0	0	220	220				
標	2	本館)	凹	実績	0	0	0	-	-				
		平成31年度分より新たに指標を設定											
		12歳以下の子ども1人当り貸出	冊/人	目標	0	0	13	0	0				
成	1	冊数	™/ 八	実績	0	0	13. 06	_	-				
果		30年度より図書館活動事業を統合したことによる指標設定→31年度より精査し項目削除											
指		本館貸出冊数	₩	目標	0	0	0	928, 000	928, 000				
標	2		Ш	実績	0	0	0	_	-				
		平成31年度より新たに指標を設定											

事業を耳 社会環境			りによる調査・研究等の利用や子ども読書活動の支援等図書館の利用目的が多様化している 会の中、安全かつ快適に「だれもが利用できる図書館」としての環境整備が求められている	
これまで や改善等		16 = 0 AK 14 4 B 15 4 1 -	や読書団体との連携を図り、子ども読書活動の推進に努めた。また利用者への安全・快適な 考え、改修等を進めてきた。	
項目別評価		評価	評 価 理 由	
	■ A.	妥当である	公の施設として、利用者からの要望や社会の要請に応じ、地域の実情に即した安定した運	
妥当性	□ B.	ほぼ妥当である	営が求められている。また、学校・園・読書ボランティア団体との連携による効果的な運営が期待できる。	
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C.	あまり妥当ではない	白が 利付 くと る。	
	□ D.	妥当ではない		
有効性	□ A.	上がっている	小学校との連携により、朝読書用図書の配本冊数は前年度と比べ増加している。施設の維	
(事業分析の 「成果」 欄に	□ B.	やや上がっている	時管理については、緊急性の高いものを優先的に施工したため、快適な施設整備を行うま でに至らなかった。	
記載の成果は上がっている	■ C.	あまり上がっていない	に主ちながった。	
か)	□ D.	上がっていない		
±1 ± 14	□ A.	高い	館外での出前講座を積極的に実施し、図書館サービスのPRに努めた。また、施設・設備	
効 率 性 (事業手法は効	■ B.	やや高い	の管理を行うことにより、図書館の効率的な運営維持管理に努めている。	
率的である か。)	□ C.	やや低い		
(۵۰۵	□ D.	低い		
総合評価	□ 1.	計画どおり事業を進める	ることが適当 ■ 2. 事業の進め方に改善が必要	
心口計画	□ 3.	事業規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要	
	■ A.	貢献している	一日千人弱の利用者が来館される図書館は、あらゆる世代の市民が幅広く利用される施設 であり、社会教育施設の中心的な役割を担っていることから、「社会教育の充実したまち	
施策への	□ B.	やや貢献している	であり、任芸教育施設の中心的な佼剤を担っていることから、「任芸教育の允美しによら づくり」に貢献している。	
貢 献 度	□ C.	あまり貢献していない	- 1 / 2 1 - 2 (1) 1 0 0 0	
		貢献 していたい		

_	<6.	今後	その方向性> ACTION
	+ + 1	d-44-	□ 1. 現状のまま継続 ■ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 ■ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止
	方向		市民の暮らしに欠かせない社会教育施設であるよう、基本的なサービスを着実に提供するとともに、学校・園との連携 を図りながらこども読書活動の推進に努めていく。また、市民の憩いの場として機能するよう、安全で快適な施設の維 持管理に努め、「市民に寄り添い くらしを支える知の広場」を目指していく。
	部 局 コメン		図書館利用の更なる利用者の拡大に向け、図書館内外での効果的な事業展開を進めるとともに、学校・園との連携を図 りながら、今後も子ども読書活動の推進に努めていく。また、すべての市民が気軽に快適に図書館を利用できるような 管理運営に努めるとともに計画的な建物改修に努めていく。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

□ D. 貢献していない

区 :	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
目標	指標1	0.00 %	0.00 %	100.46 %		
達成率	指標2	- %	- %	- %		
成 果	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %		
増減率	指標2	- %	%	%		
活動単位	指標1	0 _{千円}	0 _{千円}	477 _{千円}		
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円		
成果単位	指標1	0 _{千円}	0 _{千円}	8, 554 _{千円}		
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円		
コスト増	減率	- %	±0.00 %	±0.00 %		

整理	里番号	3	87										
部	局 名	教育委員	員会			所属	属名 生涯	厓学習課		所属	<mark>禹 長</mark> 押男	更 雅則	
事務	事業名	03371	おおつ	学推進事:	 業					記り	∖ 者 金秤	集 聖之	
< 1.	基本事	頃>								-			
	区分	コード				名		称			教育	育基本法	
	方針	01		から高齢	者までが	・ が輝いて、魅力あふれるまちを創ります					拠		
総合計	政策	03		。 きと健康(000000	, 0, ,	法令	等		
画の位		04				9451	- 0 4 9				± %	聿市生涯学習	推准計画
置付け				習の推進						関連		丰川工姓于日	任准可凹
	視点	02		オの育成						個別			
	重事	01	"大津』	人"を育る									
関連	П	ード				事 務	事 業 名	称			ード	所属名	呂 称
事業													
*													
予	会	計	枠	事	業種	別		予算	事 業 名		b	台期 • 終	期
	算 一般会計			評価対象	事業		おおつ学推	進事業費					
事							0000 - 1 JE.	~					
業													
	大津の		かした体	験型の運	基続講座	を诵して	・地域への	関心を高め.	地域を愛す	る心を育むと	ともに、学	ぶ者同士がつ)
± ** ~	たがい							め、大津人乳			2 01-1	.5 H 1 3 - 10 -	
事業の 概 要													
199. 安													
/王 AV	<u> </u>	- + -	<u> </u>	+ヒ, *** ***		ㅁፀ조건	r —	久口ルチャ		소나 ㅁㅋ~	N/III /		`
	方法	■直営		指定管理	≝石 □	氏間委託	t 口出資	資団体委託	□ 補助金	交付 □ その)他 ()
<u>< 2.</u>	事業分		PLAN		<u> </u>	₩ # 平 平 -	- 7 A. + 本+、	S I. I. + I=	<u> </u>	がつながり、均	はせざく 日本	よりに行動っ	z z 7
	目 的			ル関心をi 育成を図・		塊を変す	る心を再む	122 ti	子ふ名问工	いつなかり、耳	也以 つくりの	//こは//こて野り	じさる
(1	何のため				0/20/								
	対 象	₹	一般市員	关									
(1	何又は誰												
	手 段	r Z	体験型(の連続講り	座を通し	て							
(どの	ようなやり	り方で)											
	成 集	Į	地域のオ	とめに行	動する人	を増やす	-						
(どのよ	成 果うな状態に		地域のが	とめに行	動する人	を増やす	r.,						
			地域のが	ために行	動する人	を増やす							
	うな状態に	するのか)		ために行! 8年度		.を増やす 9年度	平成30年	度 平成	31年度	令和 2年度			
	うな状態に	するのか)	平成2	28年度	平成2	9年度						備考	
<3.	うな状態に	するのか) DO	平成2	28年度 [(千円)		9年度 (千円)	平成30年	円)予算額	〔千円〕	見込額(千円)		備考	
<3.	経費>	DO A	平成2	28年度 i(千円) 0	平成2	9年度 (千円) 353	平成30年。	円) 予算額 440	358	<mark>退込額(千円)</mark> 358		備考	
<3.	うな状態に 経費> 直接経費 人件費	DO A B	平成2	28年度 i(千円) 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786	平成30年 決算額(千 3,	円) 予算額 440 , 494	(千円) 5 358 3,548	<mark>見込額(千円)</mark> 358 3,761		備考	
<3. 事業	うな状態に 経費> 直接経費 件費 費合計・	D O A B A+B	平成2	28年度 i(千円) 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139	平成30年 決算額(千 3,	円) 予算器 440 , 494 , 934	358 3,548 3,906	<mark>退込額(千円)</mark> 358 3, 761 4, 119		備考	
<3. 事業	うな状態に 経費> 直接経費 件費 費合計・	DO A B A+B	平成2	28年度 (千円) 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0	平成30年 決算額(千 3,	円) 予算器 440 , 494 , 934 0	358 3,548 3,906 0	<mark>358 (千円)</mark> 358 3, 761 4, 119 0		備考	
<3. 事業	うな状態に 経費> 直接経費 件費 費合計・	DO A B A+B 国	平成2	28年度 (千円) 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150	平成30年 決算額(千 3,	円) 予算客 440 , 494 , 934 0 75	(千円) 5 358 3,548 3,906 0 0	<mark>358 (千円)</mark> 358 3, 761 4, 119 0		備考	
<3. 事業	うな状態に 経費 > 直接経費 費合計 / 起	DO A B A H B 其 A H B 其 B E E E E E E E E E E E E E E E E	平成2	8年度 (千円) 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150	平成30年 決算額(千 3,	円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0	358 3,548 3,906 0 0	358 3, 761 4, 119 0 0		備考	
<3.	うな状態に 経費> 直接経費 費合計 / 起こ	DO A B A+B 国 関 債	平成2	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0	平成30年 決算額(千 3, 3,	円) 予算器 440 , 494 0 75 0 65	358 3,548 3,906 0 0 0 150	358 3, 761 4, 119 0 0 0 150		備考	
3. 事業	うな状態に 経費 > 直接経費 費合計 / 起起 その 一般	するのか) DO A B A+B 国 具 債 D 他 財源	平成2	28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884	平成30年 決算額(千 3, 3,	円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969		備考	
<3. 事業	うな状態に 経費 直接経費 世代 世代 日本	A B B A + B 国 最 位 D 他 財源	平成2	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884	平成30年 決算額(千 3. 3. 3.	円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969		備考	
3.	うな状態に 経費 直接経費 費件計算 起る 一般 員数正	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	28年度 (千円) 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884	平成30年 決算額(千 3. 3. 3.	円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969		備考	
3. 第	直接機 重接機 費 直接 費 上 一般 量 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 L D </th <th>A B A + B 国 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I</th> <th>平成2</th> <th>8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884</th> <th>平成30年 決算額(千 3, 3, 3,</th> <th>円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 </th> <th>358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756</th> <th>358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969</th> <th></th> <th>備考</th> <th></th>	A B A + B 国 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I	平成2	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884	平成30年 決算額(千 3, 3, 3,	円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969		備考	
本	を状態に を発費 一般	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	18年度 1(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884 0.39	平成30年 決算額(干 3, 3, 3,	円) 予算名 440 . 494 . 934 0 75 0 65 . 794 0 . 72	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.30		備考	
く3. 事業 事の内 職の内 へ4.	直接機 重接機 費 直接 費 上 一般 量 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 国 工 L D </th <th>A B A + B 国 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I</th> <th>平成2</th> <th>8年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10</th> <th>平成30年 決算額(干 3, 3, 3,</th> <th>円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20</th> <th>358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30</th> <th>358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30</th> <th></th> <th>備考</th> <th></th>	A B A + B 国 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I	平成2	8年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10	平成30年 決算額(干 3, 3, 3,	円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30		備考	
3.事業財職の内職の内へ4.	うな状態に 経費 直接機費 単元 型 <th>A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B</th> <th>平成2</th> <th>8年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10</th> <th>平成30年 決算額(干 3, 3, 3,</th> <th>円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20</th> <th>358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.30</th> <th>358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30</th> <th></th> <th></th> <th></th>	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2	8年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10	平成30年 決算額(干 3, 3, 3,	円) 予算器 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.30	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30			
3.事業財職の内職の内へ4.	を状態に を発費 一般	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額	8年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()	円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.30	358 3, 761 4, 119 0 0 0 150 3, 969 0. 80 0. 30 0. 20		平成31年度	令和 2年度
3.事業財職の内職の内へ4.	うな状態に 経費 直接機費 単元 型 <th>A B A = B B C D D B D B D B D B D B D B D B D B</th> <th>平成2 決算額</th> <th>8年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15</th> <th>平成30年 決算額(千 3, 3, 3,</th> <th>円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22</th> <th>358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.30 0.09</th> <th>358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>令和 2年度</th>	A B A = B B C D D B D B D B D B D B D B D B D B	平成2 決算額	8年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3,	円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
3.事業財職の内職の内へ4.	本状態に 経費 1 1 2 4 4 5 4 5 4 5 4 5 5 6 7 8 9 1 2 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 4 5 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 7 8 9 9 9 1 2 <th>A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M</th> <th>平成2 決算額</th> <th>8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15</th> <th>平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()</th> <th>円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22</th> <th>358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09</th> <th>358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20</th> <th><mark>平成30年度</mark> 20</th> <th>平成31年度</th> <th>令和 2年度</th>	A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()	円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20	<mark>平成30年度</mark> 20	平成31年度	令和 2年度
3.事業財職の内職の内へ4.	本状態に 経費 1 1 2 4 4 5 4 5 4 5 4 5 5 6 7 8 9 1 2 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 4 5 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 7 8 9 9 9 1 2 <th>A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M</th> <th>平成2 決算額</th> <th>8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15</th> <th>平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()</th> <th>円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 30 0. 20 0. 22 目標・実績 目標・実績</th> <th>358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09</th> <th>358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20</th> <th><mark>平成30年度</mark> 20</th> <th>平成31年度</th> <th>令和 2年度</th>	A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()	円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 30 0. 20 0. 22 目標・実績 目標・実績	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20	<mark>平成30年度</mark> 20	平成31年度	令和 2年度
3.事業財職の内職の内へ4.	本状態に 経費 1 1 2 4 4 5 4 5 4 5 4 5 5 6 7 8 9 1 2 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 4 5 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 7 8 9 9 9 1 2 <th>A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M</th> <th>平成2 決算額</th> <th>8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15</th> <th>平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()</th> <th>円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22</th> <th>358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09</th> <th>358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20</th> <th><mark>平成30年度</mark> 20</th> <th>平成31年度</th> <th>令和 2年度</th>	A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()	円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20	<mark>平成30年度</mark> 20	平成31年度	令和 2年度
3.事業財職の内職の内へ4.	本状態に 経費 1 1 2 4 4 5 4 5 4 5 4 5 5 6 7 8 9 1 2 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 4 5 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 7 8 9 9 9 1 2 <th>A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M</th> <th>平成2 決算額</th> <th>8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th> <th>平成2</th> <th>9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15</th> <th>平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()</th> <th>円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 30 0. 20 0. 22 目標・実績 目標・実績</th> <th>358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09</th> <th>358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20</th> <th><mark>平成30年度</mark> 20</th> <th>平成31年度</th> <th>令和 2年度</th>	A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()	円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 30 0. 20 0. 22 目標・実績 目標・実績	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20	<mark>平成30年度</mark> 20	平成31年度	令和 2年度
3.事業財職の内職の内へ4.	本状態に 経費 費 技件件合計 起その 数正嘱臨 指標 大	するのか) A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()	円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22 目標・実績 目標 実績	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3, 761 4, 119 0 0 0 150 3, 969 0. 80 0. 30 0. 20 2 21	平成30年度 20 13	<mark>平成31年度</mark> 20	令和 2年度 20
3.事業財職の内職の内へ4.	本状態に 経費 費 技件件合計 起その 数正嘱臨 指標 大	A B A A 国 R G M M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3, 786 4, 139 0 150 0 105 3, 884 0. 64 0. 39 0. 10 0. 15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, (() (()	円) 予算器 440 . , 494 . , 934 . 0 . 65 . , 794 . 0. 30 . 0. 20 . 0. 22 . 目標 実績 目標 . 目標 . 目標 . 目標 .	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20 ▼ 東成29年度 0 20 2 21	平成30年度 20 13	<mark>平成31年度</mark> 20 -	令和 2年度 20 -
3.事業財職の内職の内へ4.	を状態に 接機 養養 提供合計 起るの 数正嘱臨 大地域	するのか) A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884 0.64 0.39 0.10 0.15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, () () () () () ()	円) 予算名 440 , 494 , 934 0 75 0 65 , 794 0. 72 0. 30 0. 20 0. 22 目標・実績 目標 実績	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20 ▼ 東成29年度 0 20 2 21	平成30年度 20 13	<mark>平成31年度</mark> 20 -	令和 2年度 20
く3. 事業 事の内 職の内 へ4.	を状態に 接機 養養 提供合計 起るの 数正嘱臨 大地域	するのか) A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884 0.64 0.39 0.10 0.15	平成30年 決算額(千) 3, 3, (() (() (()	円) 予算器 440 . , 494 . , 934 . 0 . 65 . , 794 . 0. 30 . 0. 20 . 0. 22 . 目標 実績 目標 実績	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20 ▼ 東成29年度 0 20 2 21	平成30年度 20 13	<mark>平成31年度</mark> 20 -	令和 2年度 20
Table Tab	を状態に 接機 養養 提供合計 起るの 数正嘱臨 大地域	するのか) A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標	8年度 i(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成2	9年度 (千円) 353 3,786 4,139 0 150 0 105 3,884 0.64 0.39 0.10 0.15	平成30年 決算額(千 3, 3, 3, () () () () () ()	円) 予算器 440 . , 494 . , 934 . 0 . 65 . , 794 . 0. 30 . 0. 20 . 0. 22 . 目標 実績 目標 . 目標 . 目標 . 目標 .	358 3,548 3,906 0 0 0 150 3,756 0.69 0.30 0.09	358 3,761 4,119 0 0 0 150 3,969 0.80 0.30 0.20 ▼ 東成29年度 0 20 2 21	平成30年度 20 13	<mark>平成31年度</mark> 20 -	令和 2年度 20

事業を取 社会環境	77 7 7 1		サービスの縮小などが余儀なくされるなか、住民主体の持続可能なまちづくりが必要 く学習成果を地域づくりに生かすことが求められている。
これまで や改善等	の元旦し //・一・・		定の地域に入り込み、地域の方と一緒に学ぶ機会を設定するとともに、包括協定を締 がら、受講生、地域、大学生がともに学ぶ構図にした。
項目別評価	評価	Ti .	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当であ □ C. あまり妥当で □ D. 妥当ではない	はない 域づく	る人材の育成を意識したプログラムにより、学ぶ者同士がつながり、学習成果を地 りに生かそうという主体的な学びの気運が醸成される。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	■ A. 上がっている □ B. やや上がって □ C. あまり上がっ □ D. 上がっていな	いる の協働 ていない	地域との連携を強化したプログラムにより、受講生にとどまらず、大学生や地域と による学習が展開できている。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや高い □ C. やや低い □ D. 低い	受講料 る。	を徴収することで、学びの成果を地域に生かそうという意識の高い者が受講してい
総合評価	■ 1. 計画どおり事 □ 3. 事業規模や見		「適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要 □ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要
施等への	■ A. 貢献している □ B. やや貢献して	±.1-	子生で組織する「おおつびと倶楽部」が設立され、地域活動を実施されているとと 地域においては「まちづくり協議会」設立に向けての気運が高まった。

4 - 4 //	·	
	□ D. 貢献していない	
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ B. やや貝魞している	

く6 今後の方向性> ACTION

	₹0. 70	その方向性/ ACII	ON			
		■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続	(□ 2-1. 拡充	笠・重点化 □ 2-2.手段等の改善	Ē □ 2-3. 効率化
I		□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合 □ 2-6. ₹	その他)		
I	方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了() 🗆	5. 休止 🗆 6. 廃止	
	刀间压	今後も引き続き、大学や地	也域との連携を進めるとともに	こ、企業等も巻き込	んだ事業を展開していく。	
li	# D E)循環」が形成されているとともに	
I	部 局 長コメント		E民のまちづくりへの気運も高 りに行動できる人材の育成に取		も引き続き、大学や地域との連携	を深めなが
I	1/21	6、地域 フくり寺に王体的	111到できる人物の自成に見	以り直仏。		

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標	指標1	125. 71 %	134. 28 %	142.85 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	+6.81 %	+6.38 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	0 _{千円}	197 _{千円}	302 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	0 _{千円}	44 _{千円}	39 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	±0.00 %	-10.65 %

	整理	番号	3	888	1											
	-		教育委員				所属	<mark>島名</mark> 生涯	厓学習	課			属長		雅則	
		事業名		社会教育	育関係団体	4推進事	業		_			記	入者	源田	扶左子	
<	<u>1. </u>	基本事具	項>						_							
		区分	コード				名		称			#F	150	大津市補助金等交付規則 大津市社会教育関係団		
		方針	01	子どもオ	から高齢者	までが	輝いて、	魅力あふれん	んるま	ちを創り	Jます		. 拠 令等			
総合	計	政策	03		きと健康に							14	节寺	仲尹未	補助金交付	
画の置は	の位 付け	+/- /-/-	04		習の推進									1		
色	111	視点	02		<u>□の症症</u> 材の育成								車する	4		!
		重事	99	その他	107				—			——————————————————————————————————————	別計画	4		!
			1— ド	7 07 10			事務	事業名	称				ード	4	所属名	7 1尓
	連						וכני 🗗	尹 木 ப	Jar					-		باليل
	業											-		┼		
			÷L_	+/1,	車	** 括	74		- 3,	佐 夏	*			+ム 甘	4欠	40
3	予		計 '스타	枠		業種別		· · ·			事業名	1		<u> </u>	! 終	划
事	算 事	一叔	会計	特定	評価対象	事業		社会教育関係	系団1/	本推進争	業費		—			
T day	争 業	<u> </u>		 '	1								┼			
			' へ 料 苔	<u>→ म= FBI (-</u>	<u> しもノ言</u>	-:: T1	7 74 2	- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ر بـ ۲۰	7 A A DE TO 7 1	*** \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	ニー ※屋太図	7 1 仏猫	配合もお	71 - 7	
												実、発展を図る 日本ボーイスプ				ī
事第	美の							『云、人洋巾』(『を守る会)	巴地人	人注印证	理ロム、	口午小⁻ 1八八	J'/ 1'144.	貝廷皿八	净地产品	·
概	要	/PH 1200	>	/	1 2	Æ 11 m	24.	e 1 C								!
		方 法	□ 直営	<u> </u>	指定管理	者口	民間委託	无 口 出資	₹団体	4委託	■ 補助	金交付 🗌 その	の他 ()
<	2	事業分	析>'	PLAN					_							
		目 的				₹の組織	及び事業	業の充実、発展	展を	図る						
		可のために	-	<u> </u>												!
		対 象		社会教育	育関係団体	<u>*</u>										
		可又は誰		<u> </u>												!
		手段		事業補月	助金の交付				—							
(チ 校 ようなやり		于小	<u>уј ж. ч</u> .	í										!
				白主的:	活動の充実	-										
	•	成 果		日土ウッパ	古期の元天	£										!
		うな状態にす		<u></u>												
$\stackrel{\checkmark}{=}$	<u>3.</u>	経費>	DO	- 12.7		- 150			_							
	-				28年度	平成29		平成30年度		平成31		令和 2年度		備	考	
				決算額	頁(千円)	決算額(千円)	決算額(千円	円)	予算額	(千円)	見込額(千円)				
		接経費			1, 224		1, 291		, 102		1, 275	1, 275				
		、件 費		<u> </u>	2, 997		2, 719		, 961			2, 366				
i i	事業	費合計 4	4 + B	Γ <u></u>	4, 221		4, 010	4,	, 063	3, 795		3, 641	Τ			
			玉		0		0		0		0	(
事第	業費	y y	 県		0		0	i	0	1	0	(-			
の貝	け源		<u>情</u>	 	0		0	i ————	0	1	0		1	-		
内	訳		の他	 	0		0		0	1	0	(-			
			財源	 	4, 221		4, 010		, 063		3, 795	3, 641	`			
	職		(人)	 												
	0		規	—	0.44		0. 44		0. 57		0. 40	0. 32	1			
職員	真数	正帰		 	0. 34		0. 29		0. 27	i	0. 27	0. 27				
のロ	7訳	嘱	託	4	0.05		0. 05		0. 15		0. 05 0. 08	0.05	_			
	臨		時	4	0.05		///	U	4.5		(1) (1)	0. 00	<u>1</u>			
چِا	<u></u>						0. 10		0. 15	·	0.00					
	1	指標>	DO	<u>—</u>		<u> </u>						- 1000 fr di				255
		指標>	指	標	名		0.10		目標	x 20130	平成28年		平成30)年度 平月		令和 2年度
			指	標		<u> </u>	単	位	目標	<mark>票・実績</mark> 目標		F度 平成29年度 7 7	<mark>平成30</mark>	6	成 <mark>31年度</mark> 6	
		指標>	指	標			単		目標	x 20130			平成30			
	1	指標> 交付団体	指				単	位	目標	目標			<mark>!平成30</mark>	6		
	1	指標> 交付団体	指 体数				単	位	目標	目標			平成30	6		
	1	指標> 交付団体	指 体数				単	位	目標	目標 実績			<mark>平成3(</mark> 7	6		
	1	指標> 交付団体	指 体数				単	位	目標	目標 目標			F 平成3(6		
	1 2	指標> 交付団体 補助金3	指体数 交付団体	数	<u>名</u>		単	団体	目標	目標目標目標	平成28年	7 7	7	6	6	6
	1 2	指標> 交付団体 補助金3	指 体数	数	<u>名</u>		単	位	目標目	目標目標目標目標目標目標	平成28年	7 7 7 7	5	6 6		6
	1 2	指標> 交付団体 補助金3	指体数 交付団体 業数(運	数 (営補助)	名		単	団体	目標目	目標目標目標	平成28年	7 7	5	6	6	6
	1 2	指標> 交付団体 補助金3 活動事事	指体数 交付団体 業数(運動(補助	数 【営補助) 」対象)事	名		単	団体	目標目標	目実目実長標	平成28年	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 1 8 1 8 1 8 1 8	7 7 8 8 8 8	0 0	0	0
	1 2	指標> 交付団体 補助金3 活動事事	指体数 交付団体 業数(運	数 【営補助) 」対象)事	名		単	団体	目標目	目実目実目実目実目実	平成28年	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	7 7 5 3	0 0	6	0
	1 2 1 2	指標〉 交付団体 補助金3 活動事第 団活動事第	指数 交付団体 業数(補助事	数 [営補助]]対象)事 [業補助]	名		単 「	団体	目標目標	目実 目実 目実 目実 目実	平成28年	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	7 7 8 8 8 8	0 0	0	0

\ O. pip	U OII LOIK								
	事業を取りまく 社会環境の状況 近年の少子高齢化などの影響を受け、会員数はやや減少傾向にある団体が多い。								
	07元旦し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、社会教育により即した事業とするためH26年度に補助金を減額した。また、H29年度 業補助金に転換し、H30年度に補助金額の見直しを行い減額した。							
項目別評価	評価	評 価 理 由							
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない	社会教育関係団体を支援し、活性化を図ることで、本市が目指す「社会教育の充実したまちづくり」につなげる。							
于校局及当場的	□ D. 妥当ではない								
有効性	■ A. 上がっている	各団体が実施する事業は概ね効果が高いと判断するが、その一方で会員数はやや減少傾向 にある団体が多い。							
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. やや上がっている	にある四体が多い。							
記載の成果は上がっている	口 C. あまり上がっていない								
か)	□ D. 上がっていない								
効 率 性	□ A. 高い	補助金額を事業内容と対比すると効率よく、本市の社会教育の振興に大きく貢献している							
(事業手法は効	■ B. やや高い								
率的である か。)	□ C. やや低い								
, ,	□ D. 低い								
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める								
TO FILLING	□ 3. 事業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要							
	■ A. 貢献している	各団体とも、地域及び学校に根ざした中で、社会教育の推進に係る活動を展開しており、							

		各団体とも、地域及び学校に根ざした中で、社会教育の推進に係る活動を展開しており、
施策への		本市の目指す「結の湖都 大津」の創造に大きく貢献している。また、その他大津市が実施する事業及び活動においても、非常に幅広く多大な協力(貢献)をしている。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

< 6. 今征	後の方向性> ACTIC) N			
	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5. 統合 □ 2-6. その他	<u>b</u>)		
方向性	□ 3.終期の設定	□ 4.終了() 口 5. 休止	□ 6. 廃止	
万间任	引き続き、健全かつ適正なね く。	補助金交付に努めるとともに、←	タ後は新たな団体を対象に	していくことも含めて検	討してい
	平成20年度から海営補助:	太重業補助に転換し 上口効率的	りに <u>社会教育関係団</u> 体の事	要な古控することで 分	<u> </u>
	係団体の事業の充実を図り、	を事業補助に転換し、より効率的 、社会教育の充実したまちづくり 今後協議・検討を行っていく。			

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	- %	- %	- %
達成率	指標2	0.00 %	0.00 %	100.00 %
成 果	指標1	- %	%	%
増減率	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位	指標1	- 千円	- 千円	- 千円
コスト	指標2	0 千円	0 千円	0 _{千円}
成果単位	指標1	- 千円	- 千円	- 千円
コスト	指標2	0 千円	0 千円	116 千円
コスト増	減率	- %	±0.00 %	±0.00 %

整理	番号	3	93									
部)	司 名	教育委員	会		所属	名	生涯学習も	2ンター		所属	長	足立 人志
事務	事業名	00807	生涯学習	ピセンター管理 運	営事業					記力	人者	大八木 朋子
<1.	基本事	項>										
	区分	コード			名		称			+=	4hn	大津市生涯学習センター
	方針	01	子どもた	いら高齢者までか	「輝いて、	魅力あ	ふれるまち	を創ります		根 法令		条例・規則
総合計 画の位	政策	03	生き生き	きと健康に過ごせ	るまちに	します				74.1	,	
置付け	施策	04	生涯学習	習の推進						887年	+ 7	大津市生涯学習推進基本
	視点	99	その他							関連 個別		計画
	重事	99	その他							12733		
田中古	П	ード			事 務	事業	名 称				- ド	所 属 名 称
関連 事業												
4.76												
予	会	計	枠	事 業 種	別		予	算事業	名			始 期 ・ 終 期
算事業	一般	会計	管理	評価対象事業		生涯学 [:]	習センター	管理運営事業	業			
事	一般	会計	特定	改修・営繕・修	繕事業	生涯学	習センター	施設改修事業	業			
未												
												ンター」を開館。
事業の				「官理と保宝を凶 センターの機能								ホールの貸し出し 供している。
概要	JK133 C 3	~ nu / u		227 07120110	C = 70	,	- XK C // III		1.20 1 [- 50 C 1AC	,
運営	方 法	■ 直営		指定管理者 🛘	民間委託	; 🗆	出資団体委	託 口衫	輔助金交付	□ その	他()
<2.	事業分	析> 「	PLAN		•		•		•	•		

目 的	市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、自主的な学習や、発表の場を提供する施設として、利用者の利便
(何のために)	性や安全性を第一に、適正な施設の管理運営を図る。
対	市内外を問わず子どもから高齢者までを対象としている。特に、成人は生活上あるいは職業上多くの課題を抱え
(何又は誰を)	、かつ学習上種々の制約を持っており、これらの諸条件を満たす学習の機会を求めているもの。
手 段	自主的な学習グループの活動の場を提供。また、多様化する学習ニーズの中で、より多くの市民が生涯学習活動
(どのようなやり方で)	に参加できるよう、充実した学習情報を提供すること。
成果 (どのような状態にするのか)	市民の生涯にわたる学習の場として、市民が触れ合い、互いに労わり、協働しながら学習意欲を高め、学ぶこと の喜びを感じる場になるよう、また団体における仲間づくりの場となるよう、適切な運営を行う。

<3. 経費> DO

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	川 石
直	i接経費 A	85, 240	67, 845	74, 688	76, 995	76, 995	施設等の修繕等政策経費を含む
人	、件 費 B	38, 850	45, 598	37, 527	36, 867	36, 867	
事業領	費合計 A+B	124, 090	113, 443	112, 215	113, 862	113, 862	
	国	0	0	0	0	0	
事業費 の財源	県	0	0	0	0	0	
内訳	起債	0	0	0	0	0	
1.3 11/4	その他	21, 677	21, 771	21, 926	22, 002	22, 002	
	一般財源	102, 413	91, 672	90, 289	91, 860	91, 860	
職	員数(人)	8. 55	9. 45	8. 45	8. 65	8. 65	
reb = *b	正規	2. 60	3. 50	2. 50	2. 70	2. 70	
職員数 の内訳	嘱託	5. 95	4. 95	4. 95	4. 95	4. 95	
021. 3H/C	臨時	0. 00	1.00	1.00	1.00	1. 00	

		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
		生涯学習関連講座、講演会等開催	事業	目標	8	8	8	8	8
活	1	事業数	学 未	実績	7	9	10	-	-
動指		1. 5回/月×12ヶ月=18回 ※H	28より施設の特色	を生かした学	習事業の実施	施日数に変更			
指		視聴覚ライブラリー関連講座開催	B	目標	14	14	14	14	14
標	2	日数	ı	実績	14	14	13	-	_
		子ども映画会、16ミリ映写機講習会等			,				
		ホール・学習室等年間利用者数	1	目標	201, 600	201, 600	201, 600	201, 600	201, 600
时	1		^	実績	184, 283	186, 497	186, 092	ı	_
成果指標		入館可能人数(1, 000人)×7割×	2 4 日 × 1 2 カ月		,				
指		講座等参加人数	ı	目標	1, 410	1, 425	1, 470	1, 470	1, 470
悰	2		^	実績	804	1, 200	1, 235	_	_
		各講座の募集定員+期待参加者数(定員	のない講座等実績)	×0.8				·	

事業を耳 社会環境			を目指すため、公共施設マネジメントの推進により効率的で効果的な施設運営が求められて 利用者にとって安全で快適な学習環境を提供し、自主的な学習活動の支援に重点を置く。
			7年が経過しており、設備機器等の老朽化が進んでいる。計画的な修繕や改修を行い、施設 ともに、施設の維持管理に要する経費を精査し、経費の縮減に努めている。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
	□ A. 妥≧	当である	自主事業については、生涯学習センター施設ボランティアやおおつ生涯学習ボランティア
妥当性	■ B. ほ	ぎ妥当である	指導者と協働で事業を実施している。また、市民の自主的な学習活動や学習グループの活動支援に重点を置き、施設ボランティアの協力のもと、効率的な施設運営を行っている。
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あ	まり妥当ではない	勤又族に 皇点を直さ、心故パブンティアの励力のもと、効平的な心故是名を刊っている。
	□ D. 妥	当ではない	
有 効 性	■ A. 上 <i>t</i>	がっている	年間利用者数は前年度に比べて減少したが、マナちゃんセミナーやボランティア指導者に
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. や ⁴	や上がっている	よる「まなび村」を新たな事業として開催し、多くの参加者が来館した。
記載の成果は 上がっている	□ C. あ	まり上がっていない	
か)	□ D. 上#	がっていない	
±1 ++ 14	□ A. 高U	۸,	貸館業務においては、社会教育施設として、公正公平を基本とし、稼働率の向上に努めて
効 率 性 (事業手法は効	■ B. や	や高い	いる。
率的である	□ C. や ⁴	や低い	
か。)	□ D. 低U	۸,	
総合評価	■ 1. 計画	画どおり事業を進める	
形口計画	□ 3. 事刻	業規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ △ 공원	*! ナ ! フ	市内外を問わず順広 ケチトの生体学型の増と イン・また 行政関係者等に対し 東挙汗

		市内外を問わず幅広い年齢層の生涯学習の場として、また、行政関係者等に対し、事業活
施策への	□ B. やや貢献している	動の場を提供し、大津市の生涯学習の拠点として、その推進に寄与している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

< 6. 今後	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
7) IF) IE	大津市に関する学習情報や文化情報の拠点施設として、学習情報の収集を行い、市民からの学習活動の相談業務や情報
	発信を行っていくもの。また、市民グループの自主的な学習活動を支援し、貸室の利用促進を図り、安全で快適な学習
	環境の確保に努め、引き続き、持続可能な施設運営を目指す。
	市民の自主的な学習活動を支える拠点として、適切な情報発信に努めるとともに安全で快適な学習環境を維持するため
部局長	施設管理を適正に行い、魅力のある施設として利用促進が図られるよう創意工夫し、効率的で持続可能な運営に努める
コメント	

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	91.41 %	92. 50 %	92.30 %
達成率	指標2	57. 02 %	84. 21 %	84. 01 %
成 果	指標1	- %	+1.20 %	-0. 21 %
増減率	指標2	- %	+49. 25 %	+2. 91 %
活動単位	指標1	17,727 _{千円}	12,604 _{千円}	11,221 千円
コスト	指標2	8,863 千円	8, 103 _{千円}	8,631 千円
成果単位	指標1	0 千円	0 _{千円}	0 _{千円}
コスト	指標2	154 千円	94 _{千円}	90 千円
コスト増	減率	- %	-18.38 %	-1.76 %

7.401万亩,市农市兴运压5

				半成31年)	芟	事務事:	茉評価シ-	-	[[平成30年度事後評価]
整理	番号	3	94							
部局	引 名	教育委員	員会	所。	萬 名	北部地域文化	センター	所属	長	中川 弘
	事務事業名 00812 北部地域文化センター運営事業								者	夘滝 眞喜子
<1.	基本事	項>								_
	区分	コード		名		称		+8	+bn	大津市北部地域文化セン
/// A = I	方針	01	子どもた	から高齢者までが輝いて、	魅力あ	ふれるまちを	割ります	根拠ター条例法令等		
総合計画の位	政策	03	生き生き	きと健康に過ごせるまちに	こします	-		,=,		
置付け	施策	04	生涯学習	習の推進 ニュー				関連	+ Z	第2期大津市教育振興基 本計画
	視点	99	その他					個別		本計画
	重事	99	その他							
関連	П	ード		事務	事 業	名 称			-ド	所属名称
事業										
予		計	枠	事業種別		予算	事業名			始期·終期
予 算	一般	会計	管理	一般事務費	北部地域	域文化センター	-運営事業費			
事業										
					<u> </u>					
				動や生涯学習活動の拠点 1児童館)としての維持管				合施設(文化ホ·	一ル・北図書館・
事業の 概 要										
W A										
運 党	方 法	■ 直営	÷ 🗆	指定管理者 □ 民間委割	4 \sqcap	出資団体委託	□ 補助金交付	ロチの) 什 ()
	事業分		PLAN		т. Ц	山共凹件女礼	口 用助业人门	<u> </u>	/ ILS (/
	すまり、 目 が			・ 文化芸術活動や生涯学習の	の活動を	支援する施設。	として、市民の利用	促進を図	るとと	:もに、安心して安全に
	可のために	•		きる施設の整備充実を行っ						
	対象	₹	市民							
(何	可又は誰!	を)								
-	手 段	L Ž		(北部地域文化センター/						ページの充実等により、
(どのよ	ようなやり	(方で)	施設の和	利用促進を広報(PR)で	する。ま	た、年次計画	等により施設の整備	等を行う) 。	
	成 集	Į		析活動や生涯学習の拠点が			ハ層に利用いただき	、地域0)文化振	長興について住民の参加
(どのよう	な状態にす	するのか)	意識が高	高まり、北部地域全体の3	文化力が	「同上する。				
<3.	経費>	DO	•		·			·		

<u> </u>	性負/ ひひ						
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	VIII 75
直	接経費 A	36, 564	42, 562	36, 756	34, 095	34, 095	
人	、件 費 B	14, 905	13, 567	11, 964	11, 964	11, 964	
事業	費合計 A+B	51, 469	56, 129	48, 720	46, 059	46, 059	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源内 訳	起債	0	0	0	0	0	
P 3 E/C	その他	3, 109	3, 245	3, 704	3, 149	3, 149	
	一般財源	48, 360	52, 884	45, 016	42, 910	42, 910	
職	員数(人)	4. 35	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	30年度から所属長は嘱託
[Wh 드 왕년	正規	0. 75	0. 70	0. 15	0. 15	0. 15	正規職員は北図書館職員の兼務
職員数 の内訳	嘱託	2. 70	2. 40	2. 95	2. 95	2. 95	
O 1 1 1 1 1 (臨時	0. 90	0. 90	0. 90	0. 90	0. 90	

		指標名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
		ホール利用人数	ı	目標	20, 000	20, 000	20, 000	20, 000	20, 000
汪	1		^	実績	17, 826	20, 673	20, 603	-	_
活 動		ホール利用人数							
指		ホール貸出件数	件	目標	150	150	150	150	150
標	2		1+	実績	142	179	192	-	_
		ホール貸出件数			,			,	
		利用者数対前年比	1	目標	1.1	1.1	1	1	1
成	1		^	実績	0.8	1. 16	1	-	_
成果指		今年度利用者数/前年度利用者数							
指		稼動率	%	目標	60	60	60	60	60
標	2		70	実績	46. 4	57. 8	59. 9	_	_
		ホール貸出日数/ホール利用可能日数(開館日数:30年度0	は297日・	貸出日数:	178日)		,	

事業を取 社会環境			以来、北部地域の文化芸術活動・生涯学習の拠点施設として根づき、地域住民に親しまれて や市民ニーズの多様化の進展に伴い、新規需要に応える事業展開が求められている。
これまで や改善等			主事業を地域密着型の文化事業に見直し、また平成29年度からはニーズの高い新規自主事 、着実に成果をあげてきた。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥当性	■ A. 妥当 □ B. ほ	当である ぎ妥当である	年間を通じて高齢者から子どもまで幅広い層の利用があり、北部地域の文化芸術活動・生 涯学習の拠点施設として、地域住民に親しまれている。
(実施主体又は手段は妥当か)	□ C. あā	まり妥当ではない 当ではない	
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	■ A. 上が □ B. や ⁴ □ C. ある	-	新規事業を積極的に取り入れた結果、稼働率は前年度比3. 6%増と向上し、初めて来館する利用者も増してきた。新規団体がロビーで絵画作品展を開催するなど、地域住民による文化芸術活動の場として活用されている。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. や ⁴ □ C. や ⁴	や高い や低い	講師謝礼無料の講座・イベント、大学との連携事業、映画上映等の自主事業の取り組みに 伴い利用者が拡大し、その相乗効果で新規ホール貸出しも増え、ホール使用料収入が前年 度比 1 7. 2 %増と向上した。
総合評価		画どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
		+111 127	ルがいけったルサダス科リルを音楽の地上がひし、マーフドナムと言葉ネルスフナッケ田

		北部地域の文化芸術活動や生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者に至るまで年間
施策への		2万人を超える(116人/稼働日)利用がある。年度末には北部地域の音楽指導者との 協働でコンサートを開催し、多くの来場者(370人)から好評を得るなど、地域の文化
貢 献 度		力を育てる役割を果たした。
	□ D. 貢献していない	

	D. AWOCO
< 6. 今後	の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3.終期の設定 □ 4.終了 () □ 5.休止 □ 6.廃止
)) III) II	平成29年度から始めた新規自主事業を、平成30年度は更に拡大展開した結果、稼働率や使用料収入の増加につなが
	り、予測どおりの成果をあげてきたので、今後とも継続して魅力ある自主事業を計画し推進していく。
	北部地域の文化振興を担う拠点施設として、引き続き魅力ある自主事業を推進するなかで、幅広いホール利用者の拡大
	につなげていく。本市他部局の事業の中には市内中心部で開催されるが、北部地域では開催されないものもあるため、
コメント	庁内での連携を図ることにより、事業展開の拡大に努めていく。

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	72.72 %	105. 45 %	100.00 %
達成率	指標2	77. 33 %	96.33 %	99.83 %
成 果	指標1	- %	+45.00 %	-13. 79 %
増減率	指標2	- %	+24.56 %	+3.63 %
活動単位	指標1	2 _{千円}	2 _{千円}	2 千円
コスト	指標2	362 千円	313 千円	253 千円
成果単位	指標1	64, 336 千円	48, 387 _{千円}	48, 720 _{千円}
コスト	指標2	1,109 _{千円}	971 千円	813 千円
コスト増	減率	- %	-18.62 %	-7. 78 %

				<u> </u>	·成31年/	芟 事務	事業評価	ラシート		[平成30	年度事後評価]
整理	番号	3	95								
		教育委員				属名 和邇文化	ビセンター	所属		谷口 幸	
	事業名		和邇文化	ヒセンタ・	一管理運営事業			。 記り	人者	谷口幸	_
<u><1.</u>	基本事	項>									
	区分	コード			名	称		根	‡ ИЛ.	大津市和 条例]邇文化センター
‰△≕	方針	01			者までが輝いて、	等	וימ א				
総合計画の位	政策	03			に過ごせるまちり						
置付け	施策	04	生涯学習	当の推進				異連	する		
	視点	99	その他					個別			
	重事	99 — ド	その他			古 ** り ひ			- F		
関連		<u> </u>			事務	事業名称			- ト	,	所属名称
事業										-	
	<u> </u>	計	枠	車	業種別	予	算 事 業 :	<u> </u>		<u>₩</u> #8	• 終 期
予 算		会計		評価対象		•				70 77	小二 791
事	XIII		口任	н≀ іші∨з⊗	ァアル	THI圏スルセング	一管理運営事業費	Ę			
· 業											
	和邇文化	ヒセンタ	一は、市	民の文化	比及び教養の高揚	並びに芸術の振!	興に寄与するため	り貸館をはじめ関	連する	事業を実施	をしてい
事業の						ンターとして開					
概要					^{舞踊などの発表会 炎所が併設されて}	:や各種講演会な こころ	どに活用されてい	いる。施設には、	和邇支	所や和邇	すこやか
	10 00/// 2	~ O 1 I J	. W. J. V.	Z A TO III	XIII II II II II I	. • • • •					
運営	方 法	■ 直営	Š D	指定管理	里者 □ 民間委詞	壬 □ 出資団体	▶委託 □ 補助	団金交付 □ その)他 ()
<2.	事業分	折> Ⅰ	PLAN	l							
	目 的]				とを基本とする生	涯学習への関心(の高まりと個性を	生生かし	多様化、	高度化してい
(1ा	可のため	(C)	る人々0	り安水に	対応するため。						
	対 象		市民及び	び関係団	体						
	可又は誰			0 38		S.J. 5 5 3 4 5	7= VX - L 11	18111660	n/#/L	0 III +1 T	- × +
	手 段				広報おおつをはし より周知に努める	じめ、毎月発行の S	和邇文化センタ-	一だより等の広幸	は媒体へ	の掲載及	ひ各種パンフ
	ようなやり						+-+:*** + 连带羽	の担しして言む。	⊢ Z		
	成 集	-	利用促现	性で図る	ことで、広く市日) බං					
	うな状態に 経費>										
	ベリノ	<u> </u>	平成?	8年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度			
			決算額		決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)		備	考
直	接経費	A	W 13T 11S	27. 894	24. 417		17, 076				
	、件費			5, 635	,	,					
	費合計 A			33, 529	30, 982	29, 118	25, 210				
		<u> </u>		0	0	0	0	0			
事業費	Ì	果		0	0	0	0	0			
の財源 内 訳	起	債		0	0	0	0	0			
F 3 E/C	そ (の他		2, 142	2, 685	2, 911	1, 878	1, 878			
		財源		31, 387	28, 297	26, 207	23, 332	23, 332			
職		(人)		1. 50	1. 50	2. 00	2. 30	2. 30			
7744 E 384	正	規	I	0 50	0 50	0.50	0 50	0 50			
				0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50			
職員数 の内訳	嘱	託時		0. 50 0. 50 0. 50	0. 50	1. 00	0. 50 0. 50 1. 30	0. 50			

| B 時 | **4. 指標** D O

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
		自主事業参加延べ人数	1	目標	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	0
活動指	1		^	実績	867	1, 202	829	-	1
動		公開講座を含む参加者人数			,				
指		開館日数	B	目標	288	287	282	282	0
標	2		ı	実績	288	287	282	-	-
		営業している日数							
		入館者数	,	目標	13, 000	13, 000	14, 000	14, 000	0
成果指標	1		^	実績	15, 070	17, 041	19, 327	-	_
果		ホール使用時の入館数							
指一		ホール稼動率	%	目標	35	35	35	35	0
倧	2		70	実績	35	41	41	-	_
		貸館(稼動)日数÷開館日	·						

事業を明 社会環境	11 A F E + 1 - 7 W	:、少子高齢化が進む中、自主事業の【げんき塾】は参加者の固定化、内容のマンネリ化によ :了する。今後は、新たな視点により事業を開拓していく。
これまで や改善等	V. 元. 巨 し	式であるため、ゆったりと座り心地がよく、長時間向けの舞台の活用をアピールし、利用促 た、リピーターを増やすように努めた。
項目別評価	評価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	各種団体の日頃の成果を発表する場や講演会などを受講する場として、照明や音響設備の整った施設を、安価な利用料で提供することは市民にとって必要。
有効性(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	□ A. 上がっている■ B. やや上がっている□ C. あまり上がっていない□ D. 上がっていない	舞台を利用した事業を周知したことなどにより平成29年度以降、稼働率が向上した。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや高い □ C. やや低い □ D. 低い	発表会等だけでなく、総会や研修会の場としても、広範囲にわたりホールの活用を図り、 利用者の増加に努めている。
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める □ 3. 事業規模や見直しが必要	
	= 11.	
	■ A. 貢献している	生涯学習のための催し物や成果発表の場として、一定の整った設備機器を有するホールは

+- ***	><,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	生涯学習のための催し物や成果発表の場として、一定の整った設備機器を有するホールは 、地域の拠点として市民に貢献している。
	□ B. やや貢献している □ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

	Xim
<6. 今 征	後の方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止 類似の施設ホールの利用における顧客満足度を研究することにより、何が当ホールに欠けているのかを認識することにより、現在の文化ホールの利用範囲だけでなく、多目的に利用ができ有効に活用できるように検討していく。
	長寿化や余暇の増加など社会情勢の変化があり、生涯学習の活用の場として利用度は広がっている。社会の活性化、高齢者の社会への参加度、青少年の健全育成等、社会全体としての価値は動かしようがない高いものと成っていっている。 。今後も当センターの利用促進とサービスの向上に努めていく。

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	115.92 %	131.08 %	138. 05 %
達成率	指標2	100.00 %	117.14 %	117.14 %
成 果	指標1	- %	+13.07 %	+13.41 %
増減率	指標2	- %	+17.14 %	±0.00 %
活動単位	指標1	38 千円	25 千円	35 千円
コスト	指標2	116 千円	107 _{千円}	103 千円
成果単位	指標1	2 _{千円}	1 _{千円}	1 千円
コスト	指標2	957 _{千円}	755 千円	710 千円
コスト増	減率	- %	-19.69 %	-11.57 %

惠	鲤	番号	3	96														
部	F	局 名 教育委員会 5事業名 00197 科学館事業					所属	<mark>属名</mark> 科学	学館				所属	貳 長	足立	人志		
事	務哥	事業名	00197	科学館等	事業								記 <i>7</i>	人者	近藤	誠		
< 1		基本事	項>															
		区分	コード				名		称						生涯	学習セン	ター条	∈例
		方針	01	子どもな	から高齢	者までが	輝いて、	魅力あふれ	しるまち	ちを創り	Jます		根		第3:	条		
総合	計	政策	03		きと健康に					<i>-</i>			- 法令	等				
画の	位	施策	04		習の推進		06.01	-067					_					
置付	け				自の推進								関連	する				
	視点 99 その他 重事 99 その他 事務事業 基本 事務事業 一般会計 管理 評価対象事業 科学館 「児童・生徒や一般市民の科学への興味関心を育て、科学・サイエンス屋台村・わくわくサイエンス・科学講演会で支援、読み語り会												個別	計画				
				その他														
BB 17		П	ード				事 務	事 業 名	4 称				Π-	ード		所属	名称	Γ̄.
事業	差																	
4.2																		
Z		会	計	枠	事	業 種	別		予	算	第	3			始	期・糸	> 期	
算		一般	会計	管理	評価対象	事業		科学館事業	書									
事																		
業																		
	=	児童・5	‡徒やー	<u></u> 般市民の)科学へ <i>0</i>)興味関	心を育て	、科学知識	の普及	や向上	を図るた	め	下記の科学	館事業	を実施	する。		
+ **																	育	
争耒	の声	て支援、	読み語	り会														
J.EAC.	女																	
	337	<u> </u>		· –	110-21-11-1	n /	D 22		- Az · ·		- 1.5-	A	. = -	. ht.				
_			■ 直営		指定管理	■者 □	民間委託	f 口出資	資団体:	委託	□ 補助	金交付	† □ そ <i>σ.</i>)他 ()
< 2		事業分	折> 「	PLAN														
		目 的		科字への	の興味・ [関心を高	め、科芸	学知識の普及	女や同山	上を図る	らため、							
	(作	可のために	(こ)															
		対象	Ę	幼児・リ	見童・生行	徒及び一	般市民る	と対象に、										
	(信	可又は誰	を)															
		手 段	Ļ	館内施語	没を活用	した諸事	業を企画	画することで	で科学に	こ関する	る学習や体	់験の	場を提供し	- \				
ڻغ)	ັກ ເ	ようなやり)方で)															
							幅広い習得を図る。また、幼児から一般市民向けまで様々な年齢層を対象にした事業を											
		成 果	<u>l</u>	科学の技	長興や科	学知識の	幅広い習	習得を図る。	また、	幼児が	いら一般で	5民向	けまで様々	な年齢	層を対	対象にした	と事業	を
-		成果						習得を図る。 D来館が見込			いら一般市	民向	けまで様々	マな年齢	層を対	対象にした	た事業	を
(どの	よう	な状態にす	するのか)								いら一般市	民向	けまで様々	マな年齢	層を対	対象にした	と事業	を
(どの	よう		するのか)	実施する	ることで、	、多様な	年齢層の	D来館が見込	込める。					マな年齢	層を対	対象にして	さ事業	を
(どの	よう	な状態にす	するのか)	実施する	ることで、 2 <mark>8年度</mark>	、多様な 平成2	年齢層 <i>0</i> 9年度)来館が見込 平成30年	込める。 <mark>- 度</mark>	平成3	1年度	令和] 2年度	マな年齢			き事業	<u>خ</u>
(どの)よう -	うな状態にする 経費>	<u>するのか)</u> DO	実施する	ることで、 28年度 i(千円)	、多様な	9年度 (千円)	D来館が見込	込める。 度 (-円)		1年度 (千円)	令和	〕2年度 額(千円)	マな年齢				خ
(どの	直	経費>	するのか) DO	実施する	ることで、 28年度 (千円) 1,122	、多様な 平成2	9年度 (千円) 957)来館が見込 平成30年 決算額(千	込める。 度 円) 970	平成3	1年度 (千円) 1,136	令和	〕2年度 額(千円) 1,136	マな年齢				е
<u>(₹0</u>	直人	接経費、件費	DO A B	実施する	8年度 (千円) 1,122 4,854	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327	D来館が見込 平成30年 決算額(千 2,	を 変 ・円) 970 2,895	平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149	令和	2年度 額(千円) 1,136 4,254					<u>خ</u>
(どの く3	1 直 人 堂	接経費 件費	D O A B A+B	実施する	ることで、 28年度 (千円) 1,122	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957	D来館が見込 平成30年 決算額(千 2,	込める。 度 円) 970	平成3	1年度 (千円) 1,136	令和	〕2年度 額(千円) 1,136					<u>خ</u>
(どの く3	1 直 人 堂	接経費 件費 費合計 月	D O A B A+B	実施する	8年度 (千円) 1,122 4,854	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327	D来館が見込 平成30年 決算額(千 2,	を 変 ・円) 970 2,895	平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149	令和	2年度 額(千円) 1,136 4,254					<u>خ</u>
(どの く3	1 直 人 堂	接経費 件費 費合計 月	DO A B A+B III	実施する	8年度 (千円) 1,122 4,854 5,976	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284	D来館が見込 平成30年 決算額(千 2,	で (円) (1) (1) (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285	令和	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390					<u>خ</u>
(どの く3	1 直 人 堂	接経費 件費 費合計 月	D O A B A+B	実施する	8年度 (千円) 1,122 4,854 5,976	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0	D来館が見込 平成30年 決算額(千 2,	を ・円) 970 ・、895 ・、865 0	平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0	令和	1 2年度 額(千円) 1,136 4,254 5,390 0					<u>خ</u>
<u>(₹0</u>	1 直 人 堂	接経費>	DO A B A+B III	実施する	8年度 (千円) 1,122 4,854 5,976 0	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0	D来館が見込 平成30年 決算額(千 2,	・	平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0	令和	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0					<u>خ</u>
(どの く3	1 直 人 堂	接経費>	DO A B A + B 国 i 債 D D D D D D D D D D D D D	実施する	8年度 i(千円) 1,122 4,854 5,976 0 0	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0	平成30年 決算額(千 2, 3,	を (元円) (元円) (元円) (元円) (元円) (元円) (元円) (元円)	平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0	令和	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0					<u>*</u>
(どの V3 事 事の内	直人業 費源訳	経費	DO A B A + B 国 i 債 D D D D D D D D D D D D D	実施する	8年度 i(千円) 1,122 4,854 5,976 0 0 0 5,976	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 0 5,284	平成30年 決算額(千 2, 3,	では、 ・円) ・ 970 ・ 895 ・ 865 ・ 0 ・ 0 ・ 0 ・ 0 ・ 865	平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 0 5,285	令和	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 0 5, 390					<u>*</u>
くる 事 業財 職	は	経費	DO A B A+B 国 I 使 D D D D D D D D D D D D D D D D D D	実施する	8年度 i(千円) 1,122 4,854 5,976 0 0 0 5,976	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 0 5,284 1.17	平成30年 決算額(千 2. 3.	を (表現) (表д) (是д) (平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285	令和	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 0 5, 390					<u>خ</u>
くる 事 業財 職	は	経費	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	実施する	88年度 (千円) 1,122 4,854 5,976 0 0 5,976 0.98 0.42	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23	P来館が見込 平成30年 決算額(千 2, 3, ()	を (表現) (表д) (是д) (平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1.10 0.20	令和	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25					<u>*</u>
(どの V3 事 事の内	は	を 接接を 接接を 費	A B A + B 国	実施する	88年度 (千円) 1,122 4,854 5,976 0 0 0 5,976 0 0 0 0 0,98 0,42 0,36	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.58	P来館が見込 平成30年 決算額(千 2, 3, ()	を (表現) (表д) (是д) (平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1.10 0.20 0.69	令和	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 59					<u>*</u>
まの内 職の内 職の	は	接機	A B A + B B 使	実施する	88年度 (千円) 1,122 4,854 5,976 0 0 5,976 0.98 0.42	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23	P来館が見込 平成30年 決算額(千 2, 3, ()	を (表現) (表д) (是д) (平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1.10 0.20	令和	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25					<u>*</u>
「	は	を 接接を 接接を 費	A B A + B D M IIII (人) 規託時 D O	実施する 平成2 決算額	8年度 i(千円) 1,122 4,854 5,976 0 0 0 5,976 0.98 0.42 0.36 0.20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 2, 3, ()	では、 ・円)	平成3	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 5,285 1.10 0.20 0.69 0.21	令和 見込:	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1, 05 0, 25 0, 59 0, 21			備	考	
「	は	接換	A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	実施する	88年度 (千円) 1,122 4,854 5,976 0 0 0 5,976 0 0 0 0 0,98 0,42 0,36	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.58	P来館が見込 平成30年 決算額(千 2, 3, ()	を (表現の) (表知の) (表知の	平成3 予算額	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1.10 0.20 0.69 0.21	令和 見込 度 <mark>平</mark>	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 21		年度	備	考	和 2年度
「		接機	A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	実施する 平成2 決算額	8年度 i(千円) 1,122 4,854 5,976 0 0 0 5,976 0.98 0.42 0.36 0.20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 2, 3, ()	を (大学) 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970	平成3 予算額 ・ <u>実績</u> 目標	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 (***	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1, 05 0, 25 0, 25 0, 21		年度 150	備	考	
「	は	を	A B A A 国 表	実施する 平成2 決算額	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 2, 3, () () 位	を (大学) 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970	平成3 予算額	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 度 <mark>平</mark>	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 21		年度	備	考	和 2年度
「		を	A B A A 国 表	実施する 平成2 決算額	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 2, 3, () () 位	を (大学) 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970	平成3 予算額 ・ <u>実績</u> 目標	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 (***	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1, 05 0, 25 0, 25 0, 21		年度 150	備	考	和 2年度
「		を	A B A A 国 表	実施する 平成2 決算額	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 2, 3, () () 位	を ・ (円) 970 970 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平成3 予算額 ・ <u>実績</u> 目標	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 (***	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1, 05 0, 25 0, 25 0, 21		年度 150	備	考	和 2年度
「		を	A B A A 国 表	実施する 平成2 決算額	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 2, 3, () () 位	を ・	平成3 予算額	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 (***	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1, 05 0, 25 0, 25 0, 21		年度 150	備	考	和 2年度
「	1	を	A B A A 国 表	実施する 平成2 決算額	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 2, 3, () () 位	を ・	平成3 予算額 : 実績 目標	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 (***	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1, 05 0, 25 0, 25 0, 21		年度 150	備	考	和 2年度
「	1	を	A B A H B B A H B D B A H B D B B A H B B B A H B B B B B B B B B B B	実施する 平成2 決算額	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 決算額(千 3, ()<	を (大学) 1	平成3 平算額 : 実績 程標	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 50 95	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1, 05 0, 25 0, 25 0, 21	平成30.	年度 150	備	度 令和	和 2年度
「		経費 接費 提供合計 よその 最近 最近 最近 上 との 大 <th>A B A H B B A H B D B A H B D B B A H B B B A H B B B B B B B B B B B</th> <th>実施する 平成2 決算額</th> <th>3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20</th> <th>、多様な 平成2 決算額</th> <th>9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36</th> <th>平成30年 決算額(千 2, 3, () () 位</th> <th>を (大学) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4</th> <th>平成3 予算額 ・実績 目標積</th> <th>1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21</th> <th>令和見込 ** ** ** ** ** ** ** **</th> <th>1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 29 1.76</th> <th>平成30:</th> <th>年度 150 176</th> <th>平成31年</th> <th>度 令和</th> <th>和 2年度 150</th>	A B A H B B A H B D B A H B D B B A H B B B A H B B B B B B B B B B B	実施する 平成2 決算額	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 2, 3, () () 位	を (大学) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	平成3 予算額 ・実績 目標積	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 ** ** ** ** ** ** ** **	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 29 1.76	平成30:	年度 150 176	平成31年	度 令和	和 2年度 150
「	1	接機 接機 接機 接機 提供 起る 機 工嘱臨 上 機 上 上 機 上 上 と 機 上 機 上 上 と	A B A A 国	実施する	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 決算額(千 3, ()<	を (大学) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	平成3 平算額 : 実績 程標	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 5,285 1.10 0.20 0.69 0.21	令和 見込 ** ** ** ** ** ** ** **	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 29 1. 76	平成30:	年度 150 176	平成31年	度 令和	和 2年度 150
「		接機 接機 接機 接機 提供 起の 機 上級 上級 <th>A B A H B B A H B D B A H B D B B A H B B B A H B B B B B B B B B B B</th> <th>実施する</th> <th>3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20</th> <th>、多様な 平成2 決算額</th> <th>9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36</th> <th>平成30年 決算額(千 決算額(千 3, ()<</th> <th>を (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4</th> <th>平成3 平方 上標積 標積 標積</th> <th>1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21</th> <th>令和見込 ** ** ** ** ** ** ** **</th> <th>1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 29 1.76</th> <th>平成30:</th> <th>年度 150 176</th> <th>平成31年</th> <th>度 令和</th> <th>和 2年度 150</th>	A B A H B B A H B D B A H B D B B A H B B B A H B B B B B B B B B B B	実施する	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 決算額(千 3, ()<	を (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	平成3 平方 上標積 標積 標積	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 ** ** ** ** ** ** ** **	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 29 1.76	平成30:	年度 150 176	平成31年	度 令和	和 2年度 150
(どの) 事		接機 接機 接機 接機 提供 起の 機 上級 上級 <th> A B A A 国</th> <th>実施する</th> <th>3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20</th> <th>、多様な 平成2 決算額</th> <th>9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36</th> <th>平成30年 決算額(千 決算額(千 3, ()<</th> <th>を で</th> <th>平成3 予算額 ・実績 目標積</th> <th>1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21</th> <th>令和見込 ** ** ** ** ** ** ** **</th> <th>1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 29 1.76</th> <th>平成30:</th> <th>年度 150 176</th> <th>平成31年</th> <th>度 令和</th> <th>和 2年度 150</th>	A B A A 国	実施する	3 ことで、 8 年度 i (千円) 1, 122 4, 854 5, 976 0 0 0 5, 976 0. 98 0. 42 0. 36 0. 20	、多様な 平成2 決算額	9年度 (千円) 957 4,327 5,284 0 0 0 5,284 1.17 0.23 0.36	平成30年 決算額(千 決算額(千 3, ()<	を で	平成3 予算額 ・実績 目標積	1年度 (千円) 1,136 4,149 5,285 0 0 0 5,285 1,10 0,20 0,69 0,21	令和 見込 ** ** ** ** ** ** ** **	1 2年度 額(千円) 1, 136 4, 254 5, 390 0 0 0 5, 390 1. 05 0. 25 0. 25 0. 29 1.76	平成30:	年度 150 176	平成31年	度 令和	和 2年度 150

νο: μιμ	-		
	IX V A \		躍的に進む中であっても、基礎的な科学知識の未修得な状況や子どもの理科離れが見られるな自然や科学の現象に触れ、体感的に学び理解を深める機会が必要とされている。
	リ π. 巨 し		リウムや昼間の星観察等、経費を要さない事業を工夫して実施しているが、人員体制の問題 ニや天文教室等の事業を廃止したため、目標値は達成したもの参加人数はやや減少した。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当 □ B. ほほ □ C. あま □ D. 妥当	ぎ妥当である ぎり妥当ではない	幼児や小学生、中高生から大人にいたるまで、すべての市民を対象にして幅広い多様な事業を企画・実施している。特に幼児とその保護者に対しての事業も多数実施している。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あま	がっている ○上がっている ミり上がっていない がっていない	展示ホールやプラネタリウムへの来館者数は年々増加しているが、展示ホール内で実施している「わくわくサイエンス」等の館事業もプラス要因となっている。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや □ C. やや	o高い o低い	予算と人員に限りがある中で、職員による創意工夫で事業を実施しており、「わくわくサイエンス」や「サイエンス屋台村」では市の予算負担が最小限となるよう運営している。
総合評価		『どおり事業を進める €規模や見直しが必要	
	■ A. 貢献	ぱして いる	科学に関する多様な事業の実施により理科教育の振興や普及に貢献している。特に、幼児

NEOK 100		科学に関する多様な事業の実施により理科教育の振興や普及に貢献している。特に、幼児				
施策への	□ B. やや貢献している	児童生徒にとって、諸事業が科学への興味関心を高める機会となっている意義は大きい。 				
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない					
	□ D. 貢献していない					

<6. 今後	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
/J III II	地域の自然や科学技術に関する理解を深めるためには、魅力的な事業展開により、多くの方に来館いただくことが重要 である。特に、幼児児童生徒が科学実験や科学工作等の体験を通して、科学に関する関心を高め、科学の楽しさや面白
	である。特に、幼児児里生促が科子美駅や科子工作寺の体験を通じて、科子に関する関心を高め、科子の楽しさや面白 さを実感できる場を増やしていけるよう、利用者ニーズを踏まえながら、今後も継続して取り組んでいく。
如巳目	幼児児童生徒や市民に対して多彩な科学現象や自然に触れる機会を提供し、科学全般に対する興味や関心を高めてもら
部局長コメント	うことで科学教育の振興や普及に貢献しており、今後も引き続き新たな創意工夫のもとに各種事業を展開することで推 進を図っていく。
-, -,	

区:	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	130.01 %	121. 43 %	102. 01 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	-6. 60 %	-1.99 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	30 千円	30 千円	21 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	0 _{千円}	0 _{千円}	0 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	-5.32 %	-25.36 %

整	<u>整理番号</u> 397															
部 局 名 教育委		<u></u>						所	属長	足立	人志					
事務	务事	業名	02510	科学の	子育成事業							記	入者	近藤	誠	
< 1.		基本事														
	T	区分	コード				名		称					生涯	学習センタ	- 第3
	ŀ	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります										条		
総合言	+	政策	03		きと健康に	_			. 0 6	· フ と /ai .	, , ,	法	令等			
画の位	立 -					ᄪᆫᇉ	のみり に	- 6 4 9								
置付け	†	施策	04		図の推進							—————————————————————————————————————	する			
	ļ	視点	99	その他									計画			
		重事	99	その他												
1日,年		⊐	ード				事務	事 業 名	称			⊐	ード		所属名	称
関連 事業																
7.7.																
予	T	会	計	枠	事業	美種!	別		予	· 算 戛	事 業 名			始	期 • 終	朝
算	ľ	一般	会計	管理	評価対象事	業		科学の子育	成事	業費						
事	ı							11 2 -4 3 137		1170						
業	ŀ															
	7	子どもか	こちに科	学館施設	を使った学	2習機:	会を設け	ると共に、	科学·	やものつ	くりに興	未・関心を持つ	■ ⊃児童・生	徒(こ対し、もの	
古 类 /					術に触れる											
事業の 概 多	更	• 	多動教室	・大津	少年少女务	き明ク ・	ラブ・	IFクラス	• }	出張科学	教室					
100 3	^															
宝 6	¥	方 法	■ ± *	, <u> </u>	化中华四土	<u> </u>	足門종관	<u>г</u> пиз	× 💷 /-	₩ 未 示		· 차	D#H /			١
		_{万 法} 事業分	■直営		指定管理者		戊 间安計	t 口出資	₹回17	11安4	山 補助金	金交付 □ その	グロ ()
<u> </u>				PLAN		は揺み	白妖理性	きにかする脚	n± .	胆心を同	ラム 仕き	生きと学びな	がた「生	キス・	カ」 左套かれ	- <i>X</i> h
		目 的		TC 0/	こりの行子1	[文 [ili] '\~	日	引に刈りる典	- An	対心で同	司の、土さ	王さと子びな	から「土。	≟ ຈ.	カ」を目むた	_α,
		のため		/+ ID II	- 本 	- 1										
		対 象		初児・リ	見童・生徒:	と对家	1-,									
	(何	又は誰	を)													
	Ξ	手 段	ž.	科学館別	施設を活用	した学	習や魅力	力ある科学教	室、	ものづく	くり活動や	最先端の科学	技術に触れ	れる	機会を提供し	^
(どの	かよ	うなやり)方で)													
	F	成 果	ļ.			を身近	に感じる	ることで生活	に密	着した種	4学技術の	有用性を理解	し、さらに	こ発	展的な学習意	飲の
(どの。	よう	な状態にす	するのか)	向上につ	oなげる。											
<3.	. \$	経費>	DO													
				平成2	8年度	平成2	9年度	平成30年	度	平成3	1年度	令和 2年度				
				決算額	(千円) 🧎	央算額	(千円)	決算額(千)	円)	予算額	(千円)	見込額(千円)			備考	
	直	接経費	A		3, 270		3, 185		903		3, 045	3, 045				
	_	件費			6, 400		4, 855		169		5, 542	4, 886				
	_	合計 4			9, 670		8, 040		072		8, 587	7, 931				
于人	₹ 7		E E					0,			0, 367					
主 業基	₽.		= <u> </u>		0		0		0		-	(
の財派	原				0		0		0		0	(
事業の財源内	尺	起			0		0		0		0	(
			D他 DUT		0		0		0		0	(
		一般			9, 670		8, 040		072		8, 587	7, 931				
職	į		(人)		1. 13		1. 09	(). 78		1. 16	1.08	1			
職員数	śł		規		0. 60		0. 32	(). 16		0. 40	0. 32	<u> </u>			
柳貝類 の内語	尺	嘱	託		0. 49		0. 68	(). 59		0. 71	0. 71				
			時		0. 04		0.09	(0. 03		0.05	0.05				
< 4.	. ;	指標>	DO													
	J		指	標	名		単	位	目標	・実績	平成28年	痩 平成29年度	平成30年	F度	平成31年度	令和 2年度
	٦	実施回数						Б		目標		70 70		60	60	60
· :	1							回		実績		72 63		62	_	_
動	ľ	事業を実		総回数		!			•			•	•			
指	7									目標				Ī		
標	2									口怎 実績			1	\dashv		
活動指標 成果指標 成果指標	•					!				八小貝	<u> </u>					
	\dashv	参加者数				ı				日坤	4, 00	00 4, 000	٦ ٢	500	3, 500	3, 500
		~ ··= □ X						人		目標	4, 00	_		916	0, 000	5, 500
成	ŀ	車 柴 夬 +	ロサクケ	胆松米						実績	4, 13	3, 700	ა,	J 1 U		
果 指	4	尹未梦》	旧者の年	间秘数		-			1				T	-	1	
標	$\lfloor \rfloor$									目標		_	}			
2	2									実績			ļ			

事業を明 社会環境	メッケー たし 51半に明ナフ	しい昨今においても児童生徒の理科離れの傾向が見られることから、魅力ある科学教室を実 興味関心を高める取り組みが求められている。
これまで や改善等	の元旦し	より魅力的なものとするため、市内全小学校6年生にプラネタリウムや科学実験による理科 。また、企業や大学の協力により、最先端の科学技術に触れる科学教室を実施している。
項目別評価	評 価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	学習指導要領においても、各学校が地域の博物館や科学館と積極的に連携協力して学習を 進めるよう提言されており、児童にとって有益な体験学習の場となっている。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	■ A. 上がっている □ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていない □ D. 上がっていない	移動教室では、科学館施設を活用した学習により理科に対する学習意欲の向上につながっている。企業の協力により最先端の工場を見学する事業を実施し参加者人数が増加した。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや高い □ C. やや低い □ D. 低い	京都大学や日本電気硝子等、大学や企業等の協力により、地域貢献活動として、無償で解 説している講座も多く、効率的な運営となっている。
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める □ 3. 事業規模や見直しが必要	
	■ A 貢献している	児童生徒が身近な科学技術に触れながら科学に対する興味関心を高め、体験活動を通して

	■ A. 貢献している	児童生徒が身近な科学技術に触れながら科学に対する興味関心を高め、体験活動を通して
施策への	□ B. やや貢献している	学びを深める事業となっており、児童生徒の学習意欲の向上に貢献している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

	□□ D. 貝献していない
< 6. 今後	後の方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他 ○ □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止 □ 78動教室」は児童が科学館施設を活用して効果的に学習できる場として大変有効で貴重な事業となっている。また、他の事業も好奇心旺盛な児童生徒に発展的な学習機会を提供する場となっているが、今後、児童生徒数の減少により、
部 局 長 コメント	参加者総数の減少が予想されることから、利用者ニーズを的確に捉えた改善について継続して取り組んでいく。 次代を担う子どもたちの科学技術や自然環境に対する興味や関心を高め、科学の基礎から先端までを学べる機会を提供 することは大変意義深いものがあり、引き続き質の高い事業の実施に努めていくが、今後は参加者数の減少が見込まれ るところ、更なる創意工夫を凝らして取り組んでいく。

区《	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標1	103. 75 %	93. 87 %	111.88 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	-9.51 %	+4. 28 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	134 千円	127 _{千円}	97 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	2 _{千円}	2 _{千円}	1 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	-8.11 %	−27. 58 %